



住人の迷いが導く重伝地区発展法
～山・寺・奈良井宿・線路・川が紡ぐ集楽生活～

1. はじめに

創設半世紀を向かえ、重要伝統的建造物群保存地区は全国で129地区となっている。昔ながらの美しい町並みや歴史的価値によって、観光地としての人気を保ってきましたが、災害に弱い木造建築や後継者不足のため、存続が難しい状況となっている。

全国の重要伝統的建造物群保存地区



函館市元町末広町（北海道）



弘前市仲町（青森県）



黒石市中町(青森県)



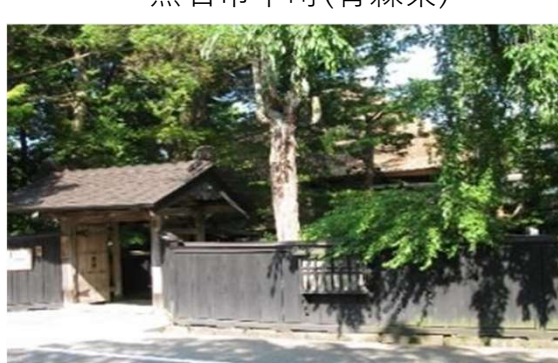
金ヶ崎町城内諏訪小路（岩手県）



村田町村田（宮城県）



横田市増田（秋田県）



仙北市角館（秋田県）



喜多方市小田付（福島県）



下郷町大内宿（福島県）



南会津町前沢（福島県）



桜川市真壁（茨城県）



栃木市嘉右衛門町(栃木県)

1. はじめに

創設半世紀を向かえ、重要伝統的建造物群保存地区は全国で129地区となっている。昔ながらの美しい町並みや歴史的価値によって、観光地としての人気を保ってきましたが、災害に弱い木造建築や後継者不足のため、存続が難しい状況となっている。

全国の重要伝統的建造物群保存地区



桐生市桐生新町（群馬県）



中之条町六合赤岩（群馬県）



川越市川越（埼玉県）



香取市佐原（千葉県）



佐渡市宿根木（新潟県）



佐渡市小木町（新潟県）



高岡市山町筋（富山県）



高岡市金屋町（富山県）



高岡市吉久（富山県）



南砺市相倉・菅沼（富山県）



金沢市東山ひがし（石川県）



卯辰山麓（石川県）

1. はじめに

創設半世紀を向かえ、重要伝統的建造物群保存地区は全国で129地区となっている。昔ながらの美しい町並みや歴史的価値によって、観光地としての人気を保ってきましたが、災害に弱い木造建築や後継者不足のため、存続が難しい状況となっている。

全国の重要伝統的建造物群保存地区



寺町台（石川県）



輪島市黒島地区（石川県）



加賀市加賀橋立（石川県）



白山市白峰（石川県）



小浜市小浜西組（福井県）



南越前町今庄宿（福井県）



若狭町熊川宿（福井県）



甲州市塩山下小田原上条（山梨県）



早川町赤沢（山梨県）



長野市戸隠（長野県）



須坂市須坂（長野県）



木曾平沢（長野県）

1. はじめに

創設半世紀を向かえ、重要伝統的建造物群保存地区は全国で129地区となっている。昔ながらの美しい町並みや歴史的価値によって、観光地としての人気を保ってきましたが、災害に弱い木造建築や後継者不足のため、存続が難しい状況となっている。

全国の重要伝統的建造物群保存地区



千曲市稲荷山（長野県）



東御市海野宿（長野県）



南木曽町妻籠宿（長野県）



白馬村青鬼（長野県）



高山市三町（岐阜県）



下二之町大新町（岐阜県）



美濃市美濃町（岐阜県）



恵那市岩村町本通り（岐阜県）



郡上市郡上八幡北町（岐阜県）



白川村荻町（岐阜県）



焼津市花沢（静岡県）



名古屋市有松（愛知県）

1. はじめに

創設半世紀を向かえ、重要伝統的建造物群保存地区は全国で129地区となっている。昔ながらの美しい町並みや歴史的価値によって、観光地としての人気を保ってきましたが、災害に弱い木造建築や後継者不足のため、存続が難しい状況となっている。

全国の重要伝統的建造物群保存地区



豊田市足助（愛知県）



亀山市関宿（三重県）



大津市坂本（滋賀県）



彦根市河原町芹町（滋賀県）



近江八幡市八幡（滋賀県）



東近江市五個荘金堂（滋賀県）



京都市産寧坂（京都府）



京都市祇園新橋（京都府）



嵯峨鳥居本（京都府）



上賀茂（京都府）



南丹市美山町北（京都府）



伊根町伊根浦（京都府）

1. はじめに

創設半世紀を向かえ、重要伝統的建造物群保存地区は全国で129地区となっている。昔ながらの美しい町並みや歴史的価値によって、観光地としての人気を保ってきましたが、災害に弱い木造建築や後継者不足のため、存続が難しい状況となっている。

全国の重要伝統的建造物群保存地区



与謝野町加悦（京都府）



富田林市富田林（大阪府）



北野町山本通（兵庫県）



豊岡市出石（兵庫県）



北野町山本通（兵庫県）



丹波篠山市 篠山（兵庫県）



丹波篠山市 福住（兵庫県）



養父市大屋町大杉（兵庫県）



たつの市龍野（兵庫県）



橿原市今井町（奈良県）



五條市五條新町（奈良県）



宇陀市松山（奈良県）

1. はじめに

創設半世紀を向かえ、重要伝統的建造物群保存地区は全国で129地区となっている。昔ながらの美しい町並みや歴史的価値によって、観光地としての人気を保ってきましたが、災害に弱い木造建築や後継者不足のため、存続が難しい状況となっている。

全国の重要伝統的建造物群保存地区



湯浅町湯浅（和歌山県）



倉吉市打吹玉川（鳥取県）



若桜町若桜（鳥取県）



大山町所子（鳥取県）



大田市大森銀山（島根県）



港町・温泉町（島根県）



津和野町津和野（島根県）



倉敷市倉敷川畔（岡山県）



津山市城東（岡山県）



津山市城西（岡山県）



高梁市吹屋（岡山県）



矢掛町矢掛宿（岡山県）

1. はじめに

創設半世紀を向かえ、重要伝統的建造物群保存地区は全国で129地区となっている。昔ながらの美しい町並みや歴史的価値によって、観光地としての人気を保ってきましたが、災害に弱い木造建築や後継者不足のため、存続が難しい状況となっている。

全国の重要伝統的建造物群保存地区



呉市豊町御手洗（広島県）



竹原市竹原（広島県）



福山市鞆町（広島県）



廿日市市宮島町（広島県）



丸亀市塩飽本島町笠島（香川県）



宇和島市津島町岩松（愛媛県）



西予市宇和町卯之町（愛媛県）



内子町八日市護国（愛媛県）



室戸市吉良川町（高知県）



安芸市土居廓中（高知県）



八女市八女福島（福岡県）



八女市黒木（福岡県）

1. はじめに

創設半世紀を向かえ、重要伝統的建造物群保存地区は全国で129地区となっている。昔ながらの美しい町並みや歴史的価値によって、観光地としての人気を保ってきましたが、災害に弱い木造建築や後継者不足のため、存続が難しい状況となっている。

全国の重要伝統的建造物群保存地区



八女市黒木（福岡県）



うきは市筑後吉井（福岡県）



うきは市新川田箆（福岡県）



嬉野市塩田津（佐賀県）



朝倉市秋月（福岡県）



浜庄津町浜金屋町（佐賀県）



浜中町八本木宿（佐賀県）



有田町有田内山（佐賀県）



長崎市東山手・南山手（長崎県）



平戸市大島村神浦（長崎県）



雲仙市神代小路（長崎県）



椎葉村十根川（宮崎県）

1. はじめに

創設半世紀を向かえ、重要伝統的建造物群保存地区は全国で129地区となっている。昔ながらの美しい町並みや歴史的価値によって、観光地としての人気を保ってきましたが、災害に弱い木造建築や後継者不足のため、存続が難しい状況となっている。

全国の重要伝統的建造物群保存地区



日田市豆田町（大分県）



杵築市北台南台（大分県）



日南市飢肥（宮崎県）



日向市美々津（宮崎県）



出水市出水麓（鹿児島県）



薩摩川内市入来麓（鹿児島県）



南さつま市加世田麓（鹿児島県）



南九州市知覧（鹿児島県）



渡名喜村渡名喜島（沖縄県）



竹富町竹富島（沖縄県）

2. 敷地概要

各地の重伝地区のほとんどは川沿いや、沿線道路沿いに位置する線状集落である。全て平行のライン上にあり都市に奥行きが出ていおらず、後継者不足や、古びた木造建築で廃れる一方である。表面的な線状の見た目の保存、体験型の観光や滞在型施設がないことで、通過するだけの観光地となり空き家の増加している。その問題を解決するため、本研究では、長野県にある日本で最も長いと言われる宿場町奈良井宿の一部を設計する。



奈良井宿（長野県）中山道の日本最長の宿場町



下郷町大内宿（福島県）



矢掛宿場町（岡山県） 山陽道の宿場町



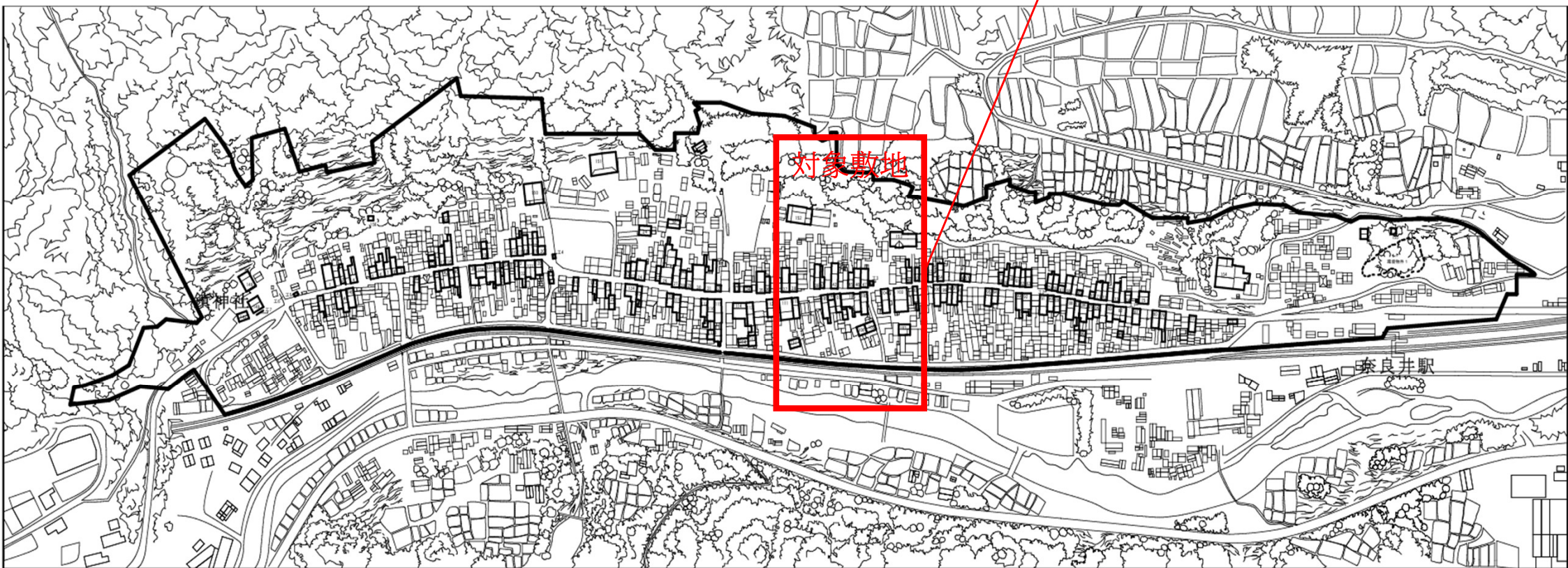
亀山市関宿（三重県）東海道の宿場町

2. 敷地概要

奈良井伝統的建造物群保存地区

奈良井は、黒枠で囲われた地区、建物が重要伝統的建造物群保存地区（重伝地区）に選定されている。この地区内は歴史的価値を次世代に伝える必要があるため、規制が厳しく、役所に申請し許可をもらった上で改修することが可能である。

勝手に変えることができないため、古くなっても手を付けられないのと同時に、積極的に使うための改修も出来ておらず、次世代に重伝地区の可能性を伝えることができていない。



奈良井伝統的建造物群保存地区

2. 敷地概要

塩尻市伝統的建造物群保存地区保存条例（抜粋）

（現状変更行為の規制）

第6条 保存地区内における次に掲げる行為には、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

- 1 建築物その他の工作物（以下「建築物等」という。）の新築、増築、改築、移転又は除却
- 2 建築物等の修繕、模様替え又は色彩の変更で、その外観を変更することとなるもの
- 3 宅地の造成その他の土地の形質の変更
- 4 木竹の伐採
- 5 土石類の採取
- 6 水面の埋立て又は干拓

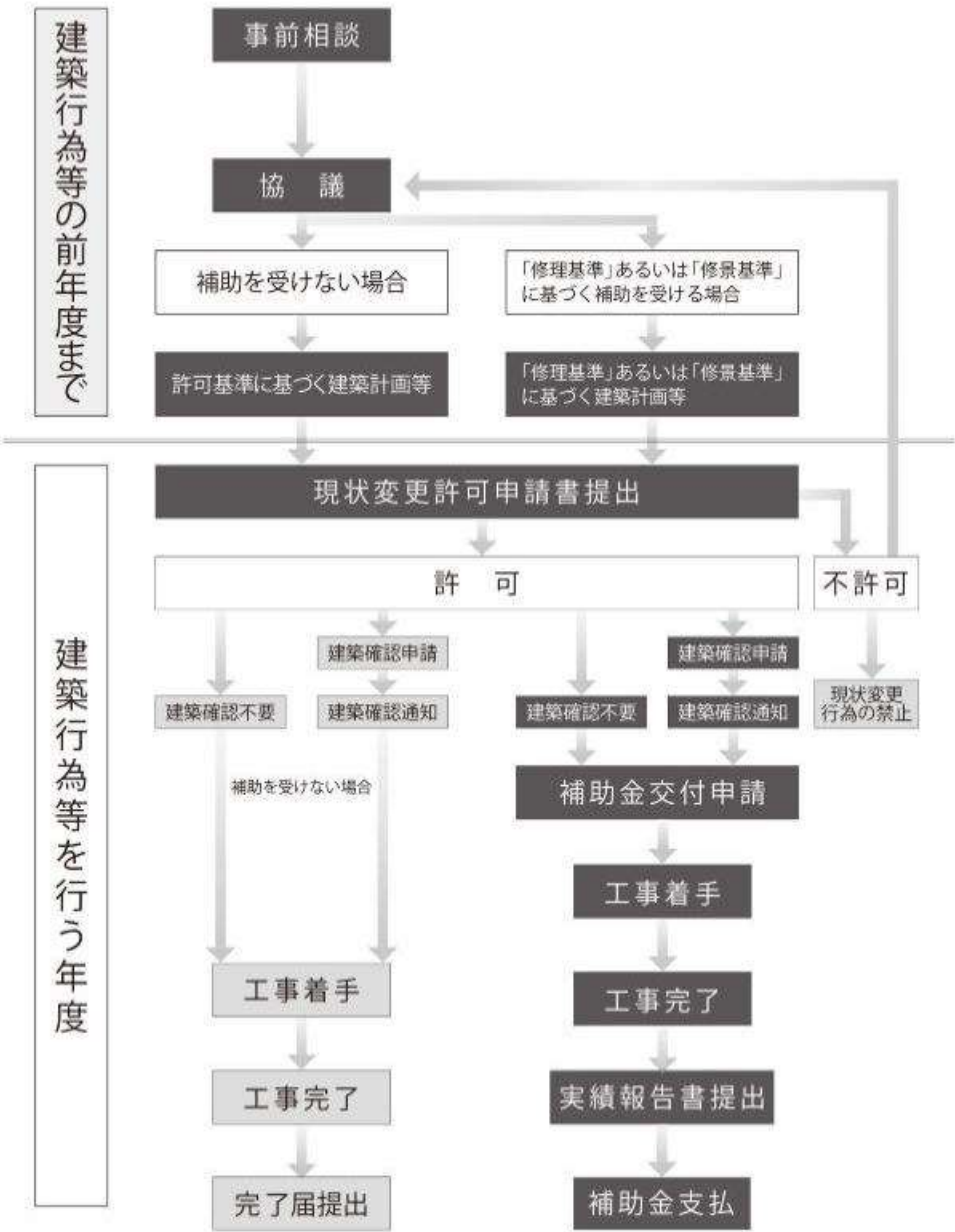
教育委員会は、第1項の許可をする際、保存地区の保存のため必要な限度において条件を付することができる。

申請に必要な書類

- 現状変更許可申請書
- 位置図
- 設計図（配置、平面、立面、断面など）
- 仕様書（仕上げ材がわかるもの）
- 現況カラー写真
- その他必要な書類

基本的な手続きの流れ

建築行為に関わる申請等の基本的な手続きの流れ



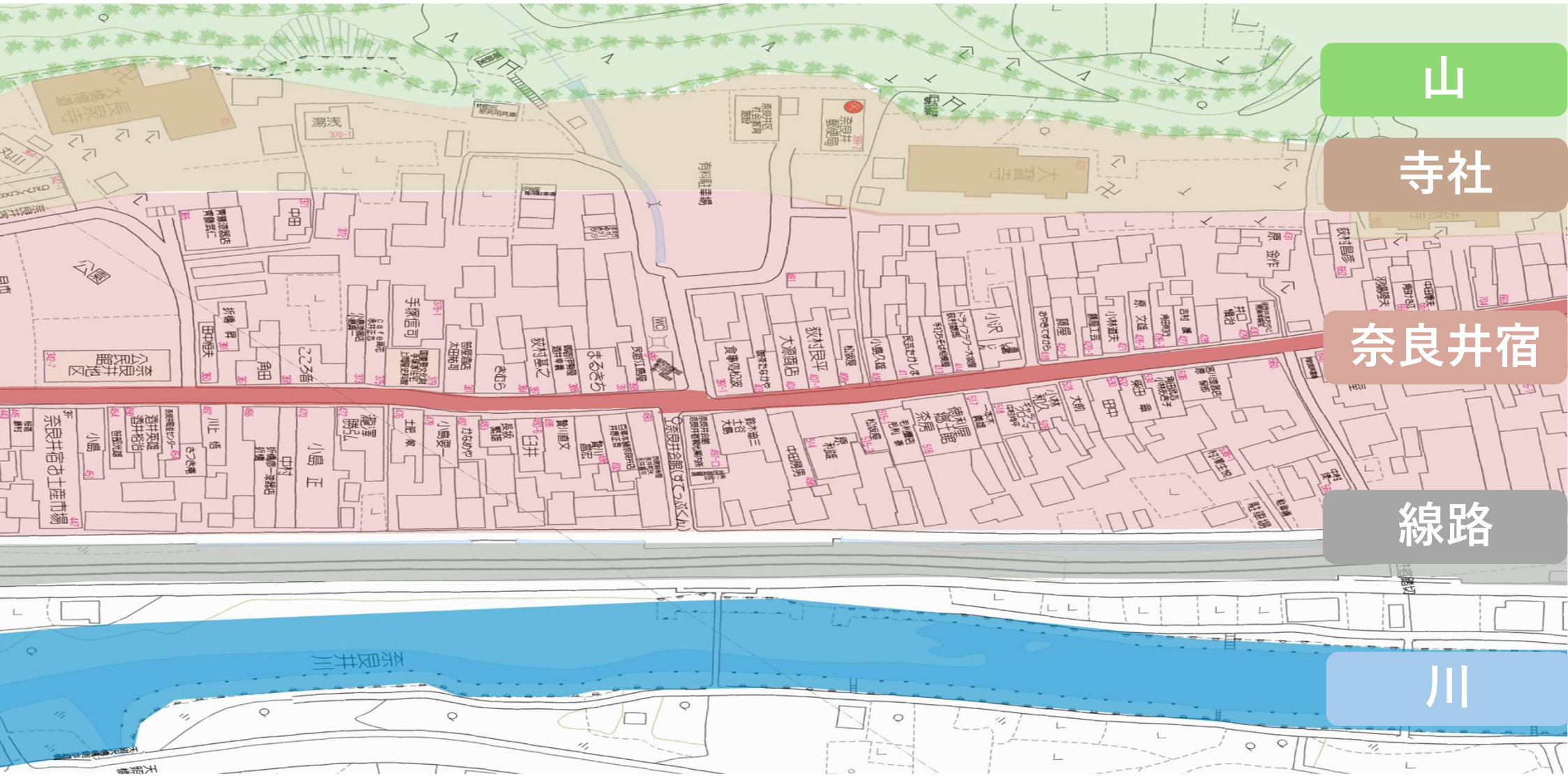
3. 調査

3-1 敷地調査

実際に街を歩いて奈良井宿を調査した。地図の中央の街道が奈良井宿で、約1kmにわたっており、街道にそって下町、仲町、上町の三町に分かれている。



奈良井宿の街道は、山、お寺、線路、川など、自然に囲まれた線状の場所に位置する。
東西約200mの範囲で神社や、山裾（やますそ）には五つの寺院（奈良井五ヶ寺）が配置されている。



山

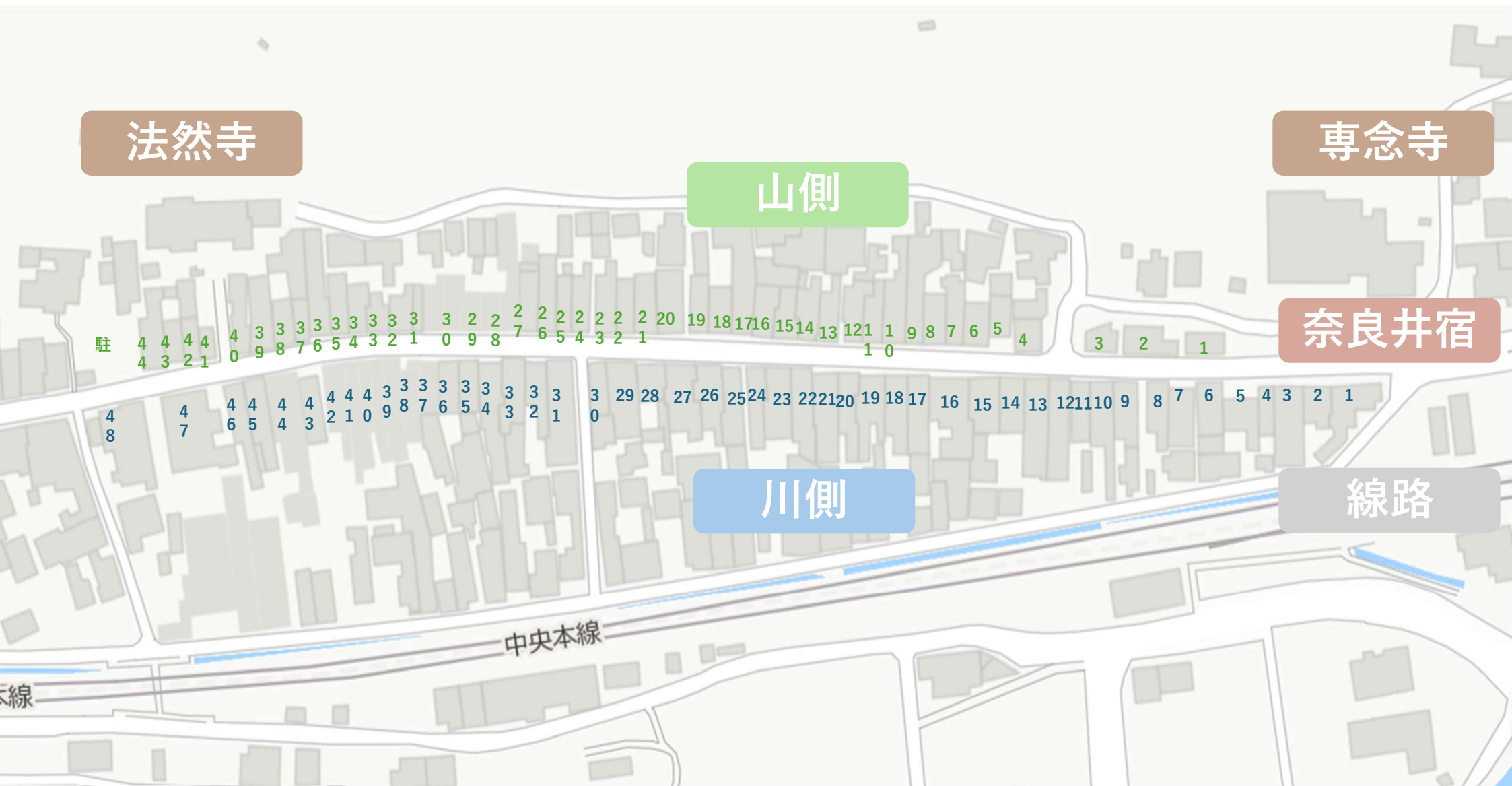
寺社

奈良井宿

線路

川

下町には山側にお寺が2つ、奈良井宿の街道に沿って民家が川側に48軒、山側に44軒。



下町（下線部：店・人の気配がある民家）

川側

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 松田屋 | 25 <u>しまだ屋（民宿しまだ）</u> |
| 2 まるい | 26 <u>（ギャラリー深雪）</u> |
| 3 まるい | 27 <u>さわや（さわや漆器店）</u> |
| 4 新屋 | 28 松村屋 |
| 5 倉屋 | 29 市川屋 |
| 6 松島屋 | 30 <u>松屋（松屋茶房）</u> |
| 7 <u>結美屋（くまい美容院）</u> | 31 門屋 |
| 8 倉新 | 32 <u>（BYAKU）</u> |
| 9 | 33 <u>柳屋（いなかや）</u> |
| 10 新和狭屋 | 34 <u>花筏（みやげ花筏）</u> |
| 11 島小 | 35 上油屋 |
| 12 児野 | 36 古林 |
| 13 油屋 | 37 <u>新屋（民宿かとう）</u> |
| 14 | 38 小坂清水屋 |
| 15 <u>（旅館あぶらや）</u> | 39 <u>町田</u> |
| 16 <u>島屋（島屋漆器店）</u> | <u>（民宿いかりや町田）</u> |
| 17 長門屋 | 40 若狭屋 |
| 18 湯筒屋 | 41 つる屋 |
| 19 <u>杉の屋（578）</u> | 42 太田屋 |
| 20 笑亀 | 43 上伊 |
| 21 <u>柳屋（柳屋漆器店）</u> | 44 古んや |
| 22 <u>上原屋（ギャラリー）</u> | 45 仲嶋屋 |
| 23 古屋 | 46 <u>成田屋（斎藤漆器店）</u> |
| 24 松野屋 | 47 <u>酒屋（酒・崧・温泉）</u> |
| | 48 <u>中村屋（煙草）</u> (18) |

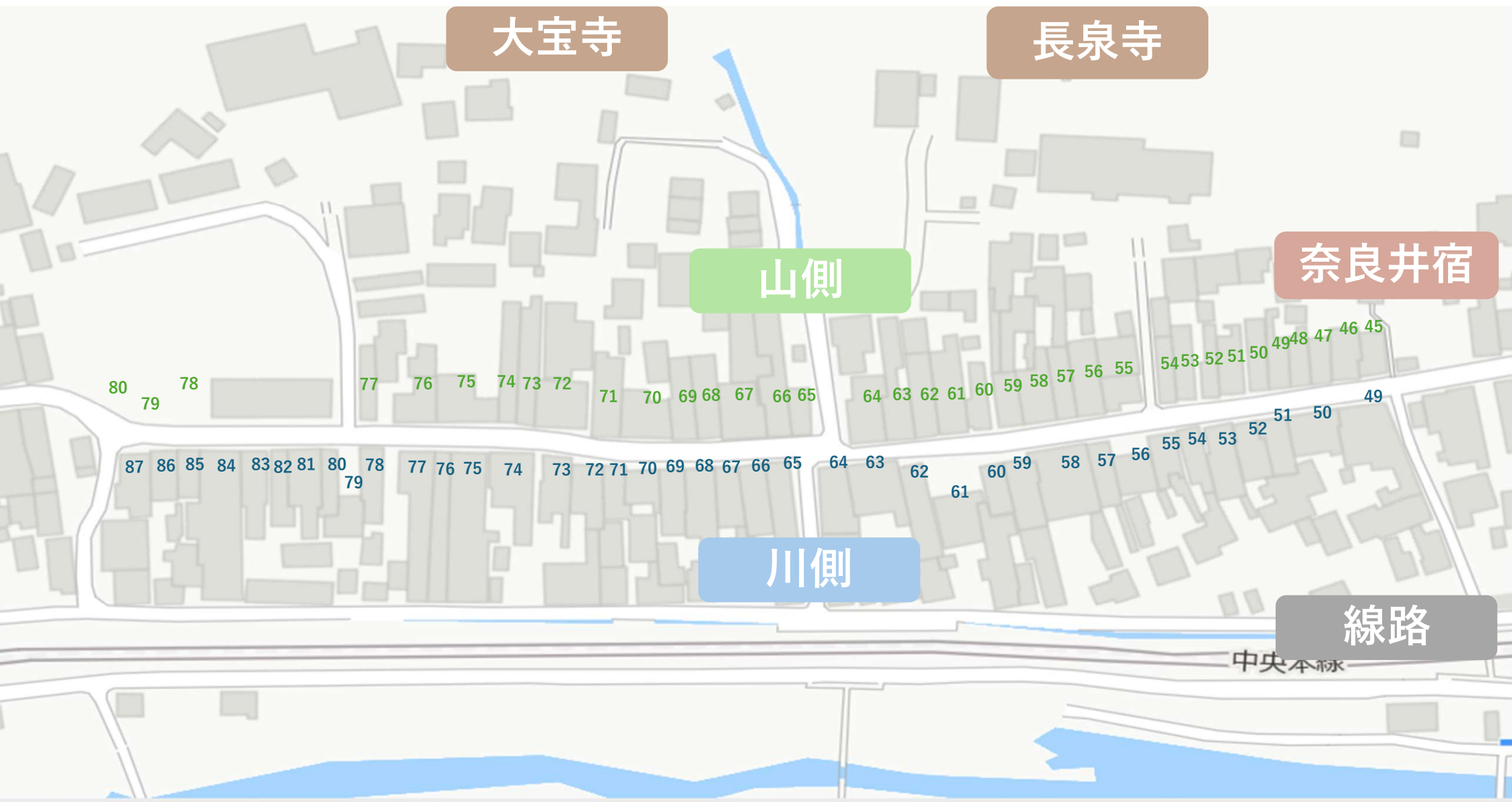
山側

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1 <u>（渡辺新聞店）</u> | 23 |
| 2 たたみ屋 | 24 <u>（鎌漆器店）</u> |
| 3 | 25 |
| 4 堤屋（木工所） | 26 <u>（まつむらや駒）</u> |
| 下町水場 | 27 |
| 5 | 28 <u>小坂屋（漆器）</u> |
| 6 本かまや | 29 糸屋 |
| 7 <u>かまや（かごかごの花）</u> | 30 大和屋 |
| 8 餅屋 | 31 丸上 |
| 9 <u>花野屋（みやげ花野屋）</u> | 32 角上 |
| 10 床屋 | 33 吉野家 |
| 11 綿屋 | 34 <u>廣田屋（広田漆器店）</u> |
| 12 枡屋 | 35 <u>吉野家（木工所）</u> |
| 13 <u>丸吉屋（麵屋ひろ）</u> | 36 山田屋 |
| 14 <u>福やまふく（民宿津ち川）</u> | 37 <u>越後屋（食事越後屋）</u> |
| 15 吉田屋 | 38 橘屋 |
| 16 <u>花野屋（宮川漆器店）</u> | 39 綿屋 |
| 17 <u>湖月（湖月堂）</u> | 40 |
| 18 <u>（着物凜）</u> | 41 |
| 19 <u>（喫茶こでまり）</u> | 42 中田屋 |
| 下城水場 | 43 角屋 |
| 20 <u>古ん屋（柴田漆器店）</u> | 44 橘屋 |
| 21 | 横水水場 |
| 22 <u>（柴田漆器店）</u> | 44 (16) |

下町は人気のある民家が、川側に18軒、山側に16軒
駅に一番近く、奈良井宿の始まりであるため、下町には飲食店や雑貨店などが多数存在した。

仲町

仲町にはお寺が2つ、民家が川側に38軒、山側に35軒。



仲町（下線部：店・人の気配がある民家）

川側

49 宝来屋	72
50 <u>（宮川漆器店）</u>	73 とみや
51 穀屋	74 丸一屋
52 福島屋	75 しまや
53 田中屋	76
54	77 山喜屋
55	78
56 <u>栄元</u>	79 <u>米屋（さつき庵）</u>
<u>（アクセサリークローマ）</u>	80 <u>（奈良井街並センター）</u>
57 たから屋	81 新伊勢屋
58 徳利屋	82 笹乃屋
59 箕輪屋	83
60 <u>松阪屋（みやげ）</u>	84 米屋
61	85 みはらや
62 中田屋	86 まつや
63 三好屋	87 吉田屋
64 <u>（観光案内所）</u>	38 (9)
65	
66 <u>ゑちごや（民宿）</u>	
67 <u>福本屋（日野百草本店）</u>	
68 富吉屋	
69 上富吉屋	
70	
71 <u>かなめや（食事）</u>	

山側

45 <u>扇屋（ギャラリー）</u>	69 丸共
46 清水屋	70 きむら
47 栄屋	71 <u>（笹屋酒店）</u>
48 吉村屋	72 <u>上問屋（見学できる）</u>
49 角屋	73 <u>ほていや（CAFÉ風花）</u>
50 <u>上吉屋（食事）</u>	74 <u>まこと屋（小島漆器店）</u>
51 小林屋	75 <u>（こころ音）</u>
52 鶴屋工芸	76 穀屋
53 <u>藤屋（土産藤屋）</u>	77 田中屋
54 <u>（おやきてずから）</u>	78 <u>（奈良井公民館）</u>
55 美濃屋	79 糀屋
56 <u>大阪屋（みやげ）</u>	80 与兵衛
57 <u>相模屋（そば処）</u>	35 (19)
58 <u>たかしま屋（民芸）</u>	
59	
60 松坂屋	
61	
62 <u>大源（みやげ）</u>	
63 <u>中田屋（喫茶たなかや）</u>	
64 <u>（食事松波）</u>	
65 詰所	
66 <u>江島屋（民宿）</u>	
67 <u>（まるきち）</u>	
68 <u>伊勢屋（民宿）</u>	

仲町は人気のある民家が川側に9軒、山側に19軒でした。

上町

上町には、お寺が1つ、端には大きな神社が存在する。

上町と仲町の境には敵の直進と、見通しを防ぐという宿場町を守るためのに機能していた「かぎの手」と呼ばれるクランク形状の道路がある。民家は川側に38軒、山側に35軒。



上町 (下線部：店・人の気配がある民家)

川側

88	けいので	<u>111 (観音堂)</u>
89	鍵屋	112 信州屋
90	こい屋	113
91	大野屋	114 茂美屋
92	駒屋	115 新柏屋
93	信州屋	116 柏屋
94	ますや	117
95	若松屋	118
96	丑屋	
97	和泉屋	30 (2)
98	市の屋	
99	三島屋	118 (22)
100	柏屋	
101	石屋	
102	変わった建物	
103	橋本屋	
104	荻乃屋	
105	こい屋	
<u>106 (木曾民芸館)</u>		
107	藤野屋	
108		
109	山形屋	
110	大津屋	

山側

<u>81 かぎので (そば処かぎの手)</u>	
82 やなぎや	
83	
84 吉屋	105 なぎさ屋
85 みさとや	106 中屋
86 畑野	107 河内屋
87 やなぎや	108
88	<u>109 よしだ屋 (美容院)</u>
89 美里屋	
90 栄屋	28 (7)
91 中村屋	
92 坂本屋	109 (42)
93	
<u>94 中利 (中村屋)</u>	
95 やまき?	
96	
97 杉屋	
98 玉屋	
99 やまき	
<u>100 (みやげ才田屋)</u>	
101 柏屋	
<u>102 (竹仙堂)</u>	
<u>103 会津屋 (せんべい)</u>	
<u>104 山なか (そば処)</u>	

人の気配のある民家が、川側2軒、山側7軒でした。上町が最も人の気配がなく、衰退が進んでいた。奈良井宿全体で人の気配があったのは、川側は118軒うち22軒、山側は109軒のうち42軒。

3-2 町並み調査

江戸時代にタイムスリップしたかのような情緒ある町並みが特徴。

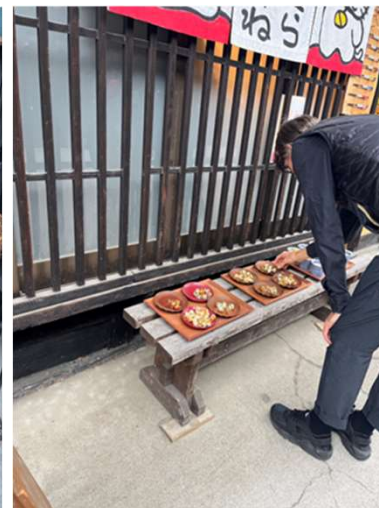


3-2 町並み調査

緑との相性が良い。軒先で、植木や、花を育てている民家が多く、奈良井宿の建物の木質館と調和し、町並みに緑が溶け込んでいた。



軒先での雑貨の販売や、置物、木でできた机や椅子などが置いてあることで、程よい生活感を感じる。



3 - 2 町並み調査

伝統的な建築様式間口が狭く奥行きがあり、家の中心には中庭が存在する。



伝統的な町並みに馴染んだ宿泊施設。



3-2 町並み調査

伝統工芸品を作る職人、お店が存在する。



お六櫛（おろくぐし）



木曾漆器（きそしっき）



曲物（まげもの）



木曾春慶（きそしゅんけい）



3-2 町並み調査

街道に置かれた自家用車、空き家、改修工事がされていない家など、伝統的な街並みと生活とのバランスが取れていない部分が多数存在していた。



街道に自家用車



空き家



改修されていない



広告



自販機



さびれた看板



風情に合わない置物



風情に合わない飲食店



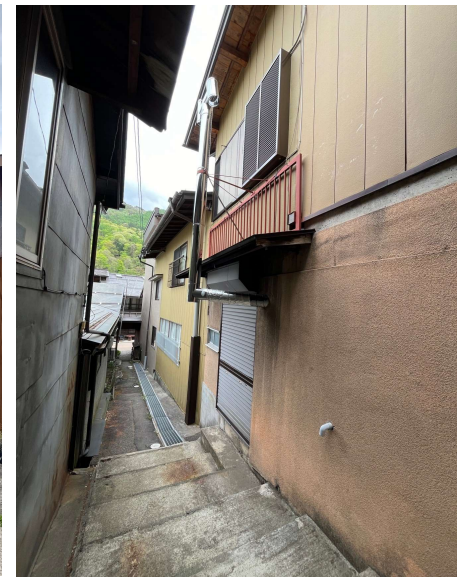
関係のない店



自販機

3-2 町並み調査

重伝地区内にもかかわらず、整備が行き届いていない建物が多く見受けられた。

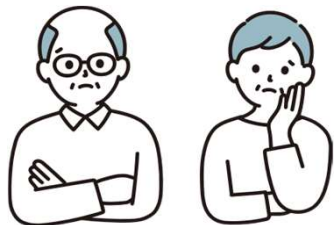


3-2 町並み調査

週末やお祭りなどの行事のある日は、人で賑わいますが、平日は閑散としている。

平日

人が
少ない



週末

人で
賑わう



平日

閑散



お祭り

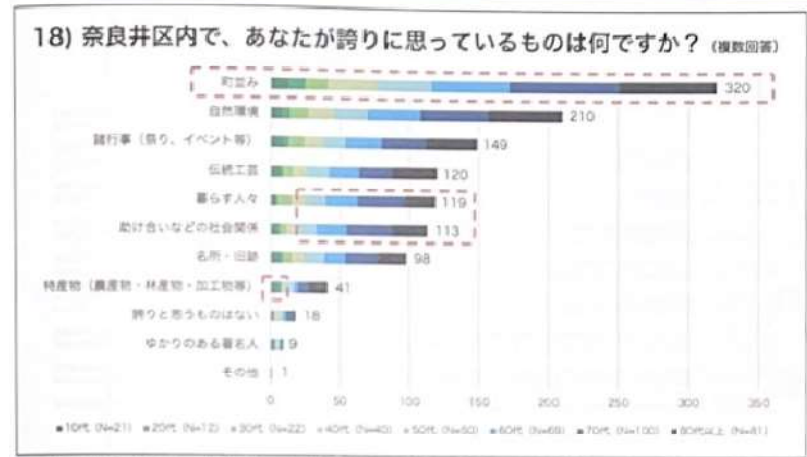
外国人
観光客



2021年奈良井区全住民アンケート

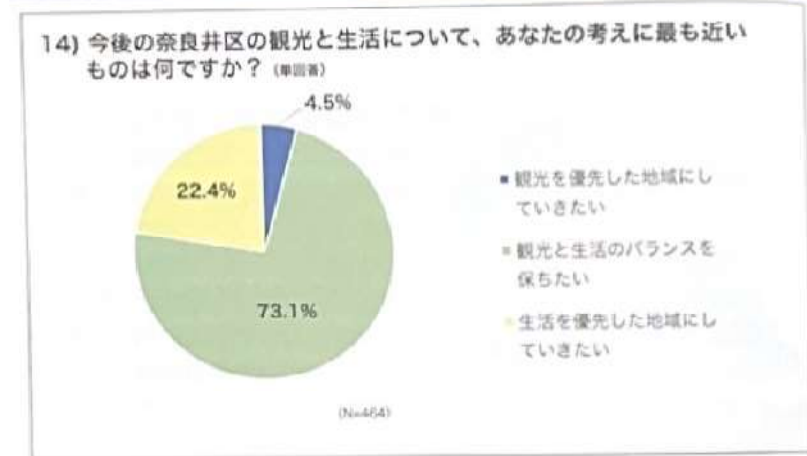
アンケートの結果によると、住民の半数以上が、歴史的なものの守りながら存続させていきたい、派手に発展させず静かに暮らしたい、開発はのぞんでいないという調査結果が出ていた。

5.町並み・景観：誇り（世代）



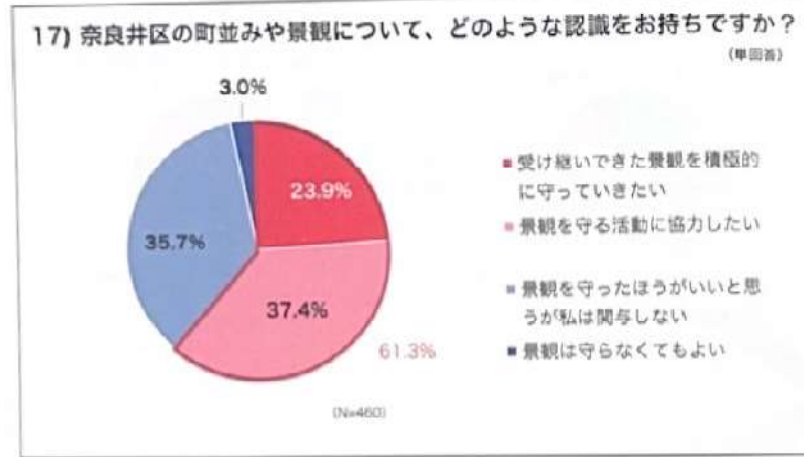
- ・奈良井の誇りは、「町並み」が飛び抜けて多く、81%の回答が集まった。次いで「自然環境」、「諸行事（祭り、イベント等）」と続いた。
- ・50～80代以上で「助け合いなどの社会関係」、「暮らす人々」に約3割の回答がみられた。
- ・「特産物」は10代の回答割合が高く、30代はゼロ、20・40・60代は寡少であった。

5.観光：観光と生活



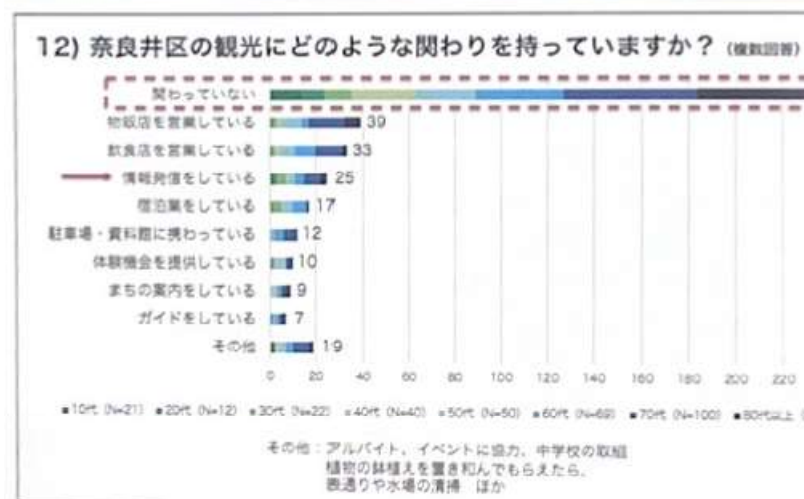
- ・奈良井の観光と生活について、3/4弱が「観光と生活のバランスを保ちたい」と回答した。
- ・一方で、「観光優先」が4.5%、「生活優先」が2割強存在している。

6.町並み・景観：認識



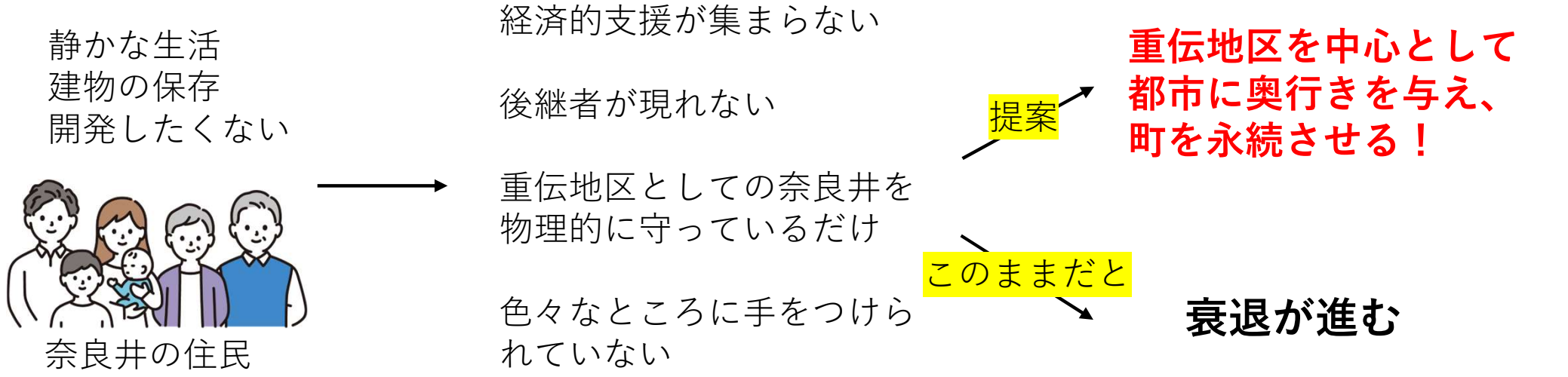
- ・97%の回答者が「景観を守る」ことに賛同している一方で、自ら「守りたい」「協力したい」という意思のある回答者は、全体の61.3%となった。

5.観光：関わり



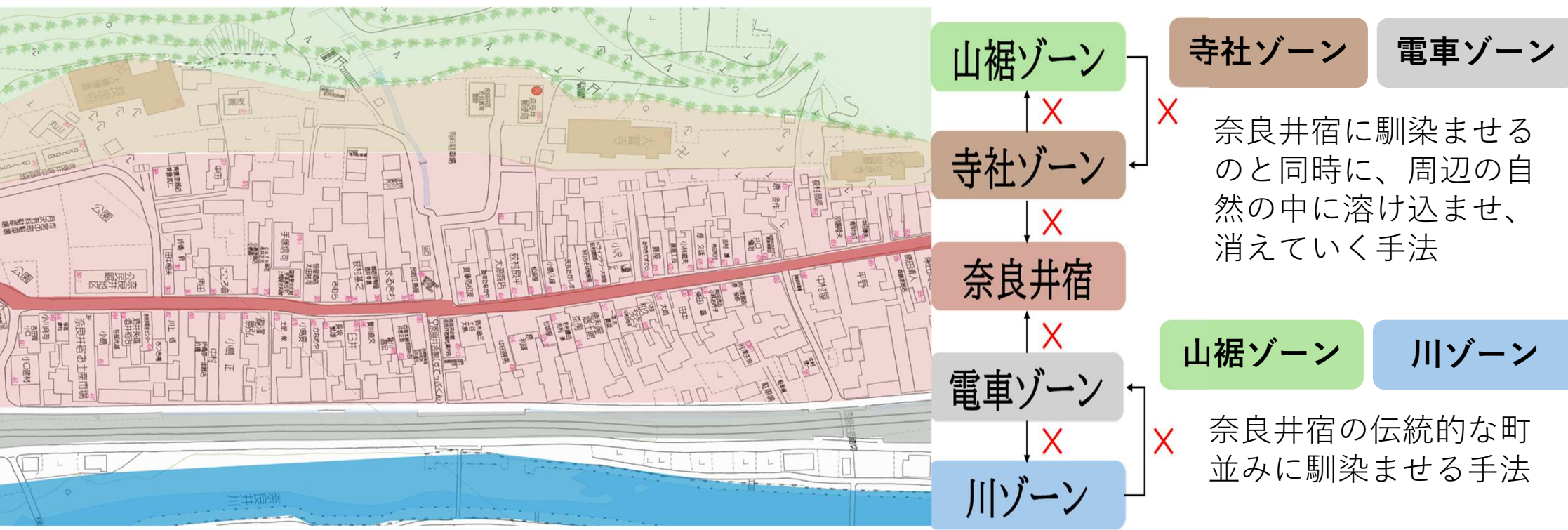
住民たちの消極的な意見が大半を占めており、重伝地区に誇りをもっていて、守っていききたいという意思はあるものの、守るがゆえに諦めることや失うものも多く、町として発展せず、結果的に衰退が進むのを待つだけとなっている。

この問題を解消するために、現在、住民が大切にしている歴史的景観を守りつつ、町を個人のレベルから広げ、重伝地区を中心として都市に奥行きを与え、観光客と奈良井宿の住民とが融合し、町全体が永続していくための手法を提案する。



4. 設計手法

奈良井宿と並行する4つのゾーン的设计手法



奈良井宿に加え平行する寺社・線路・山裾・川の4つのゾーンを総合的に計画し繋ぎとめる。
現在、寺社や線路は、重伝地区の規制や自然環境などで、無理に発展させることができない為、奈良井宿の歴史的な街並みに馴染んでいない。同時に、山裾・川の自然とも分離してしまっている。
周辺の大いから空間が発生し、消えていく手法で4つのゾーンを整備し、中央の奈良井宿と馴染ませることで、地域全体に奥行きを与え、歴史的空間を保存しつつ、地域全体を活性化する。

奈良井宿の町並みから抽出した要素

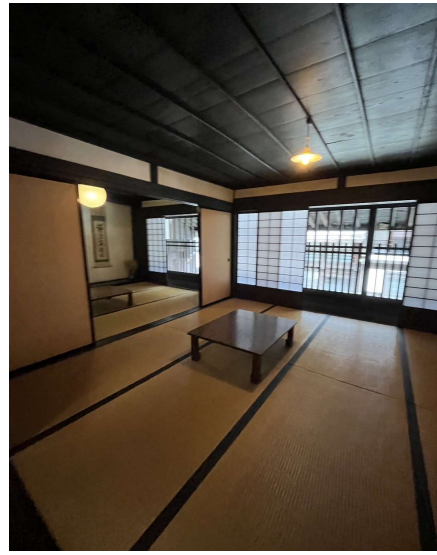
これらの要素を用いて、空間を構成する



回廊



ベランダ



小上がり



床の間



囲炉裏



しとみ戸



くぐり戸



のれん



カウンター



外観

奈良井宿の町並みから抽出した要素

これらの要素を用いて、空間を構成する



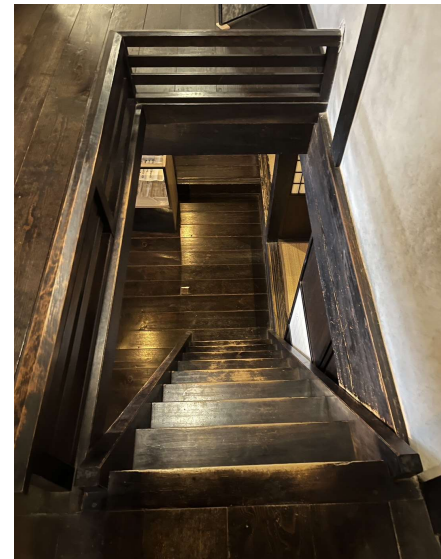
障子



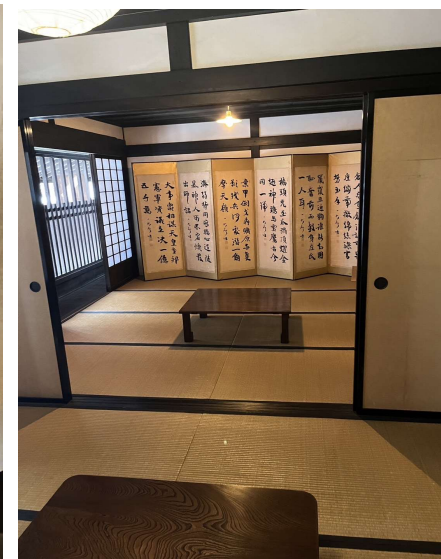
中庭



階段



吹き抜け



畳



ふすまで空間を
仕切る



軒先販売



机・椅子

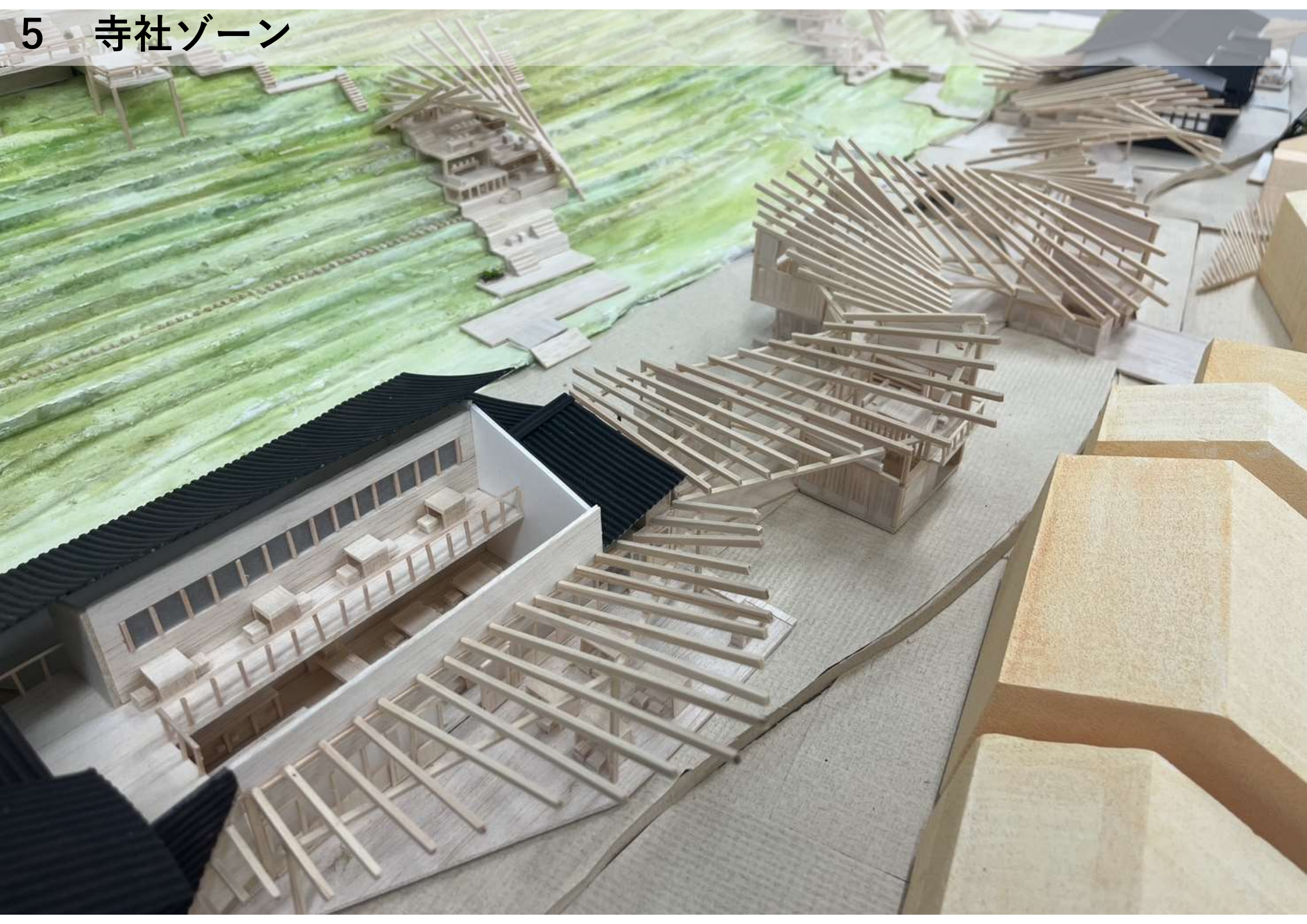


植物

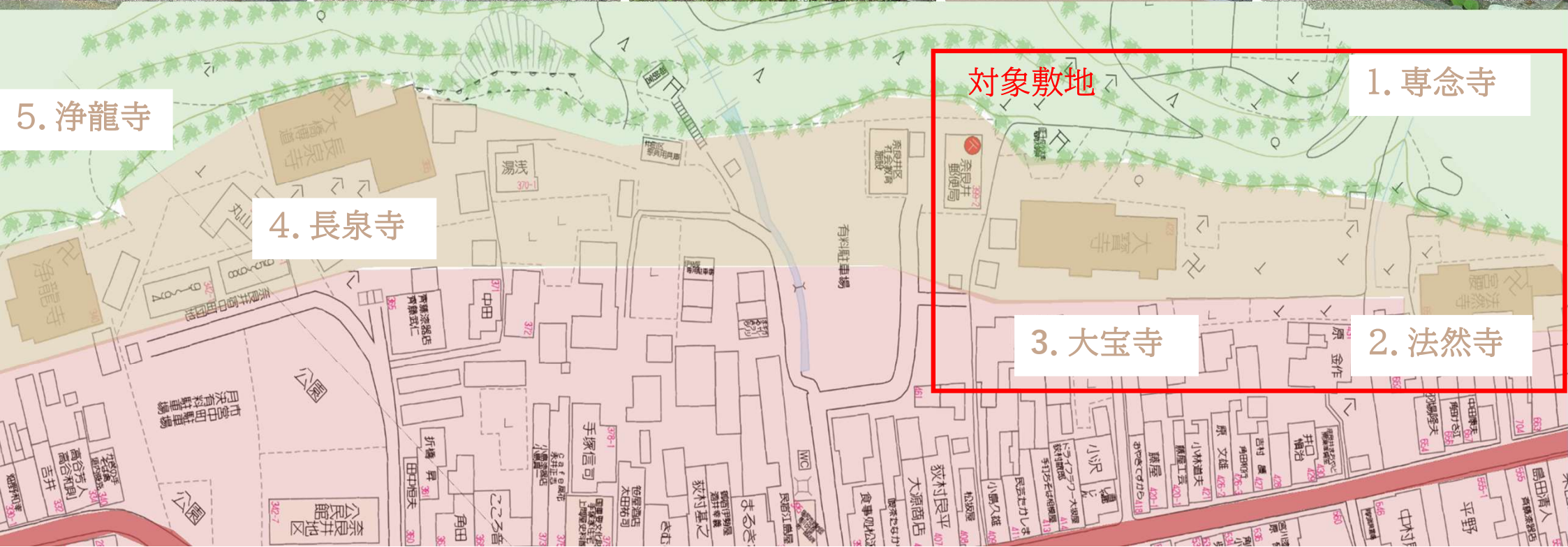


植木鉢

5 寺社ゾーン



奈良井宿には約 1 kmの中にお寺や神社が数多く存在しているが、どのお寺にも人の気配を感じない。



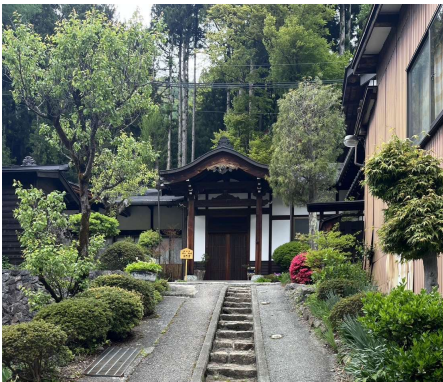
奈良井宿 五ヶ寺

約 1 kmの中にお寺や神社が数多く存在しているが、どのお寺にも人の気配を感じない。
点在するお寺の中の代表的な5つの寺院は、奈良井五カ寺と呼ばれている。

1.専念寺



2.法然寺



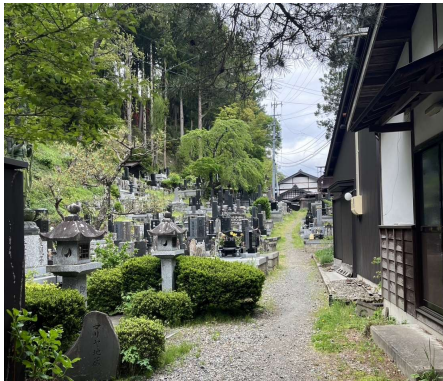
3.大宝寺



4.長泉寺



5.浄龍寺



寺社ゾーン 設計手法

奈良井宿の調査によって自身が最も重要だと判断した、手塚家住宅の間取りを抽出
→スケール感を保ちながら点在しているお寺を緩やかに繋げる



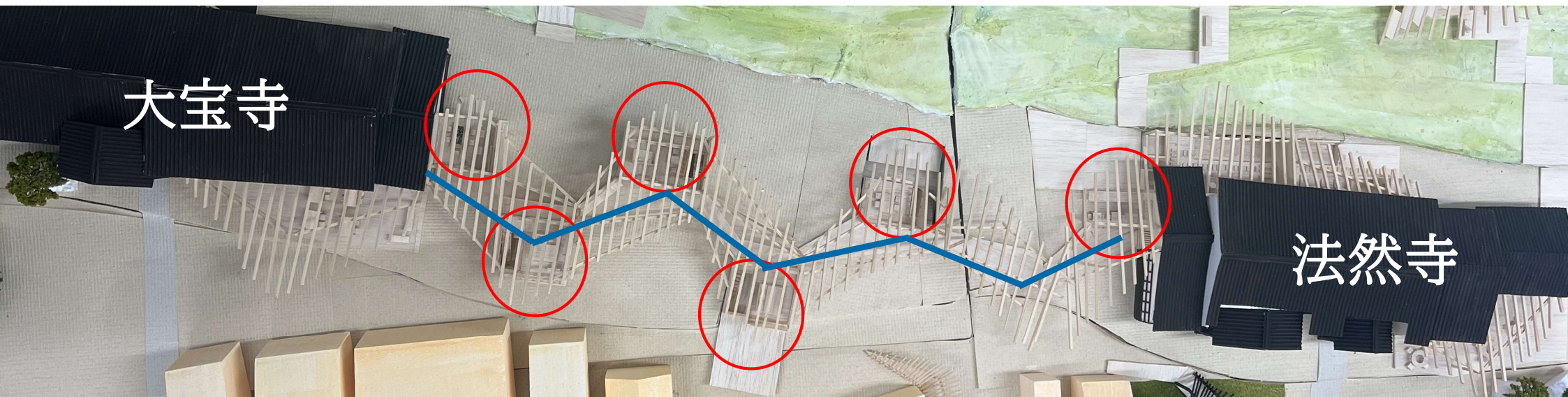
手塚家住宅間取り(国指定文化財)



中山道奈良井宿の間屋を主とする宿内の要職を務めた家で、天保11年（1840）建築の主屋は家業である問屋機能を残し、別棟座敷は充実した接客空間とを持ち合わせ、文久3年(1863)建築の土蔵を加えた3棟が重要文化財に指定されている。建築年代があきらかで、近世末期の木曾地方における問屋の姿を留めるものとして評価が高い。

寺社ゾーン 設計手法

敵の直進と、見通しを防ぐという宿場町を守るために機能したクランク形状の道路「かぎの手」の要素を抽出 → 街道を歩いているかのような宿坊



クランク状の道路「かぎの手」の手法を使い、寺と寺を繋ぐ宿坊の廊下を成立させている。

宿泊施設 奈良井宿の建築手法を抽出した宿泊施設で既存のお寺を緩やかに繋ぐ。



囲炉裏の部屋

部屋の中央に囲らんでできる囲炉裏があり、奈良井宿の建築様式を体感することができる。



屋根裏の部屋

屋根裏の寝室からは奈良井宿と自然豊かな山を一望できる。

宿泊施設 奈良井宿の建築手法を抽出した宿泊施設で既存のお寺を緩やかに繋ぐ。



小上がりの部屋

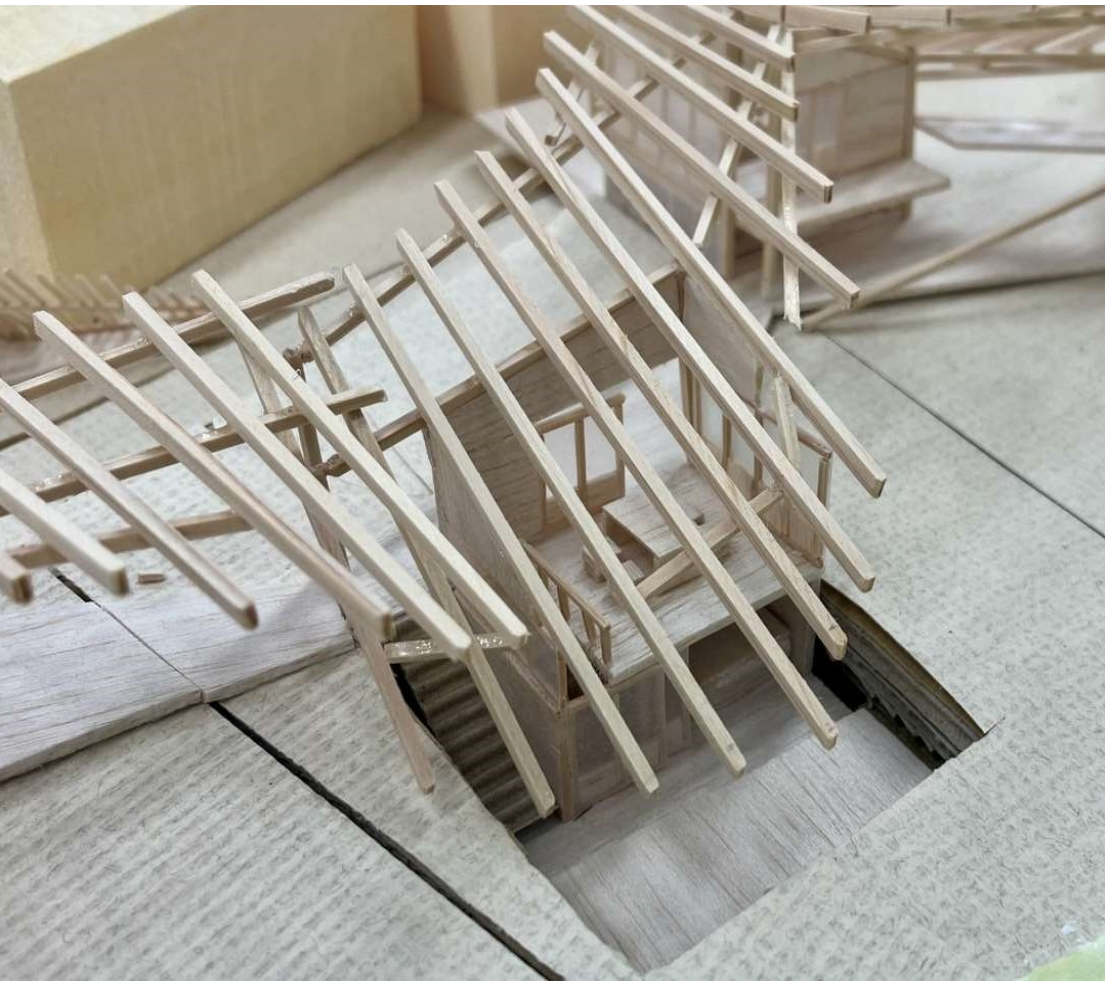
1階が小上がりの寝室空間になっており、他の部屋とは違った宿泊体験をすることができる。



和室の部屋

廊下から30cm下がった空間になっており、開放的なデッキからは外に直接アクセスできる。

宿泊施設 奈良井宿の建築手法を抽出した宿泊施設で既存のお寺を緩やかに繋ぐ。



吹き抜けの部屋

1階部分が半層下がった空間で、デッキが吹き抜けになっている開放的な部屋。

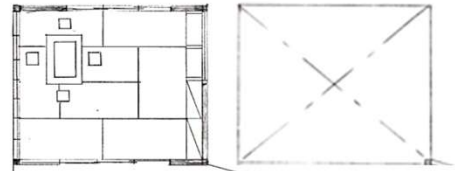


奥に長い廊下

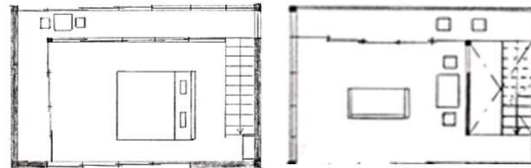
手塚家住宅の奥に長い廊下を依拠させている。

寺社ゾーン 宿坊 図面

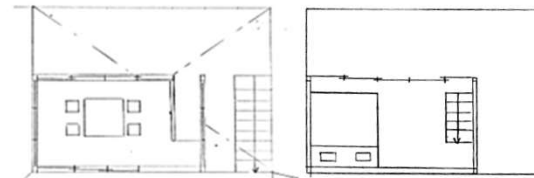
囲炉裏の部屋



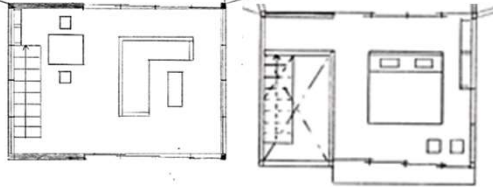
小上がりの部屋



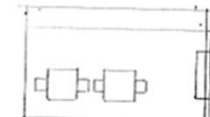
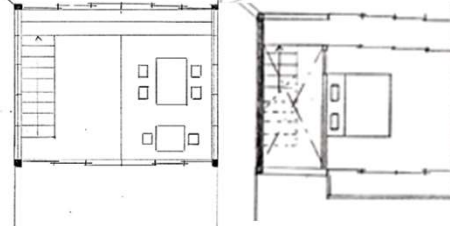
吹き抜けの部屋



屋根裏の部屋



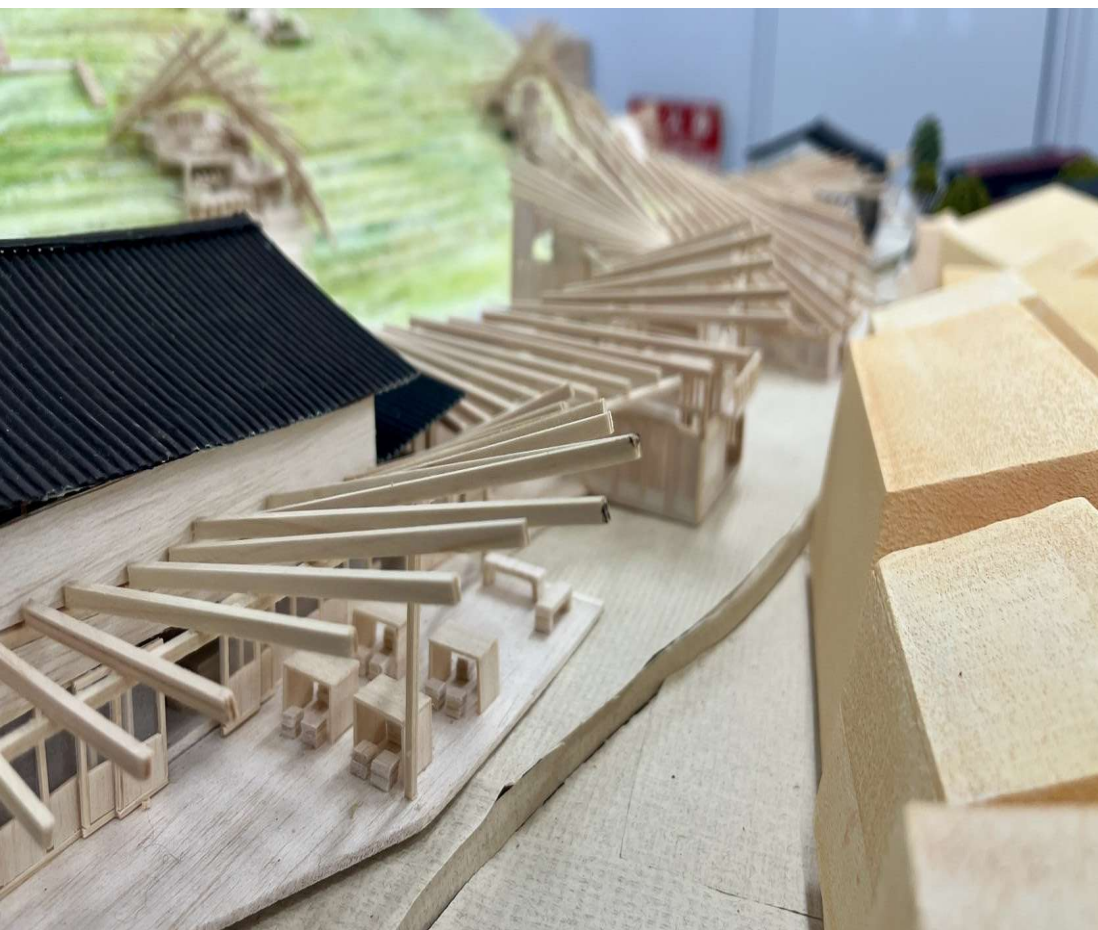
和室の部屋



大宝寺の改修

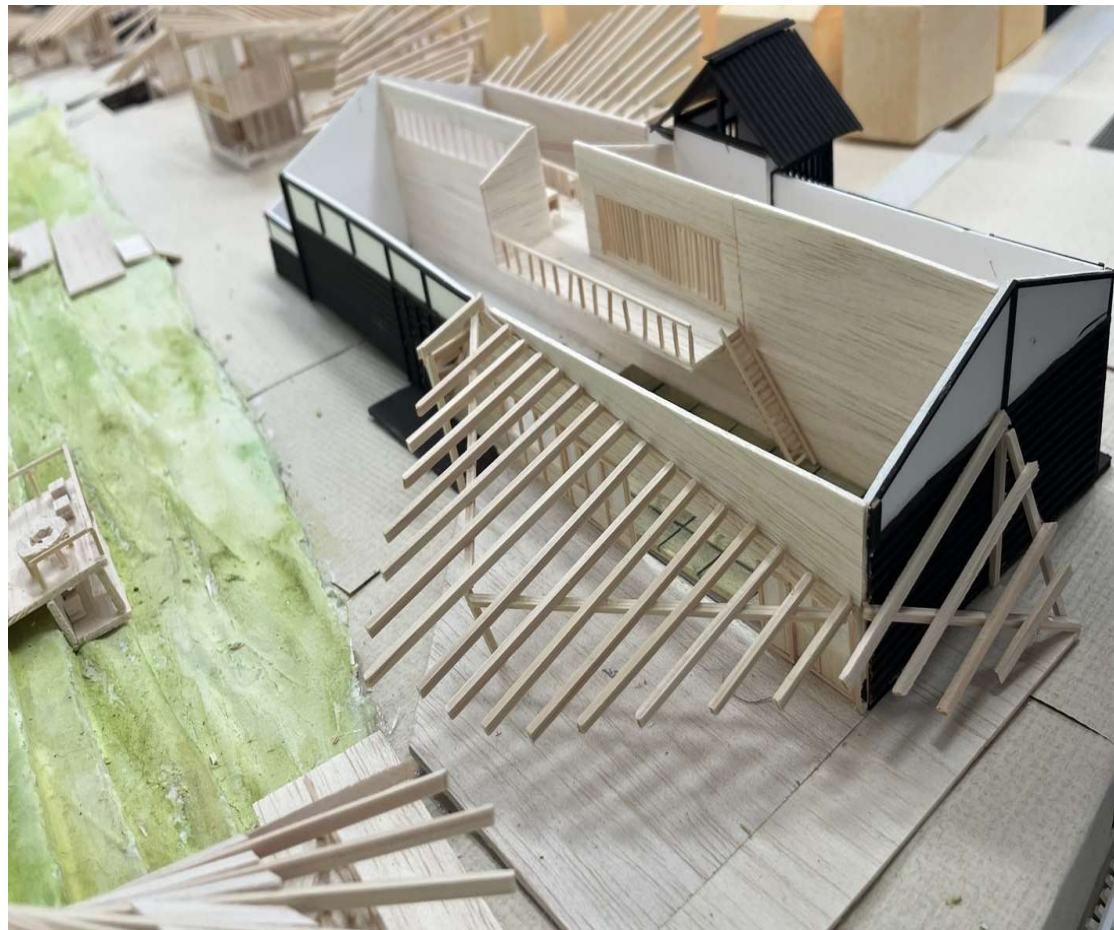
レストラン

地域の食材を生かしたレストラン。観光客の休息の場として活用する。



寺社の改修

寺社の機能を残しつつ、一部を改修することで新築した宿坊との一体感を持たせる。



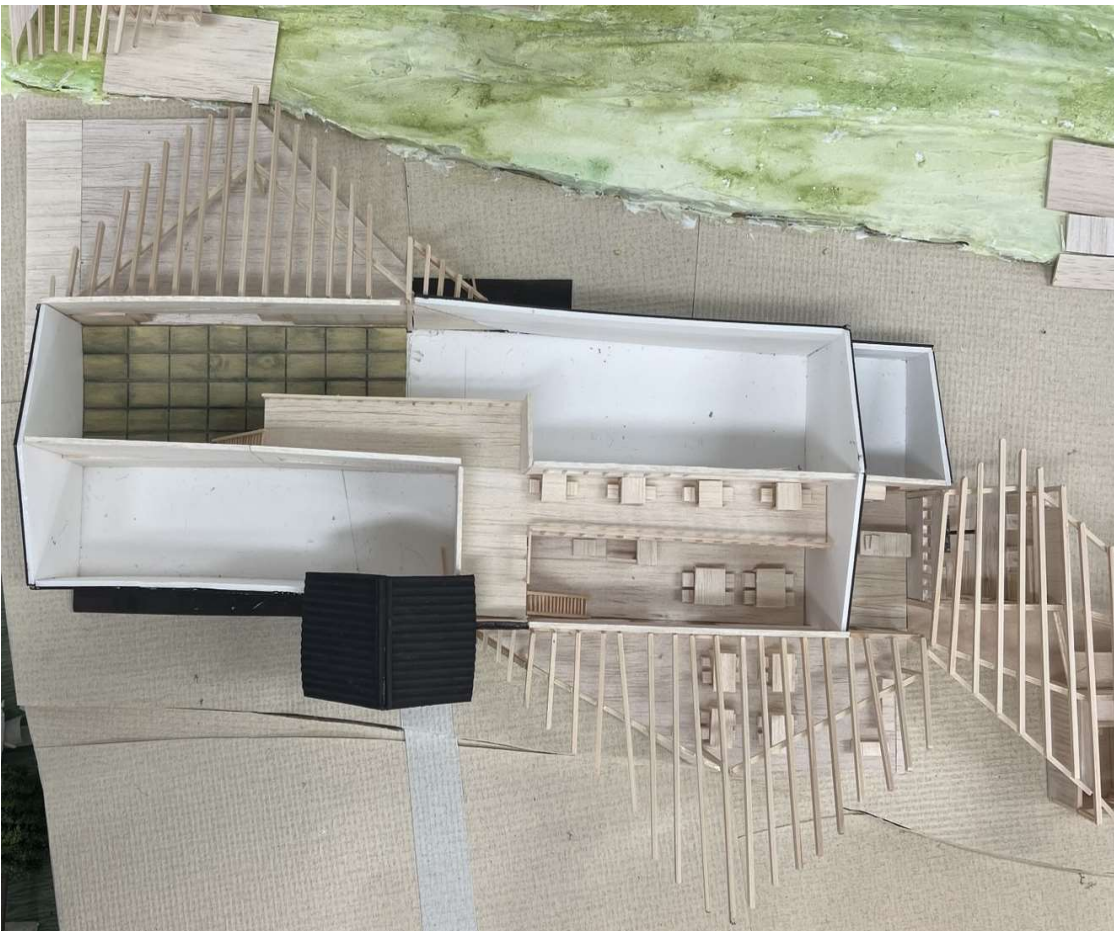
休憩所デッキ

山裾ゾーンと一体的に活用できる休憩所のデッキ空間。主に観光客の休息の場とする。

大宝寺の改修

レストラン

地域の食材を生かしたレストラン。観光客の休息の場として活用する。



吹き抜け空間

レストランの2階部分と休憩所の2階部分が繋がっており、お互いの空間を行き来することができる。



レストラン

1階は室内席とデッキ席、2階は吹き抜けになっていて開放的で落ち着いた空間となっている。

法然寺の改修

浴場・休憩所

温泉や露天風呂が楽しめる施設。山を見ながらくつろげる畳の部屋もある。



休憩所

温泉からあがった人がくつろげる畳の部屋や、観光客の休息の場、市民の憩いの場とする。



温泉

室内風呂と露天風呂があり、山の景色を一望できる。山の上の露天風呂と一体的に活用できる。

法然寺の改修

浴場・休憩所

温泉や露天風呂が楽しめる施設。山を見ながらくつろげる畳の部屋もある。



温泉

天井が高く開放感のある空間となっている。



温泉

プライバシー性を備えつつも開放感のある温浴施設。

6 線路ゾーン

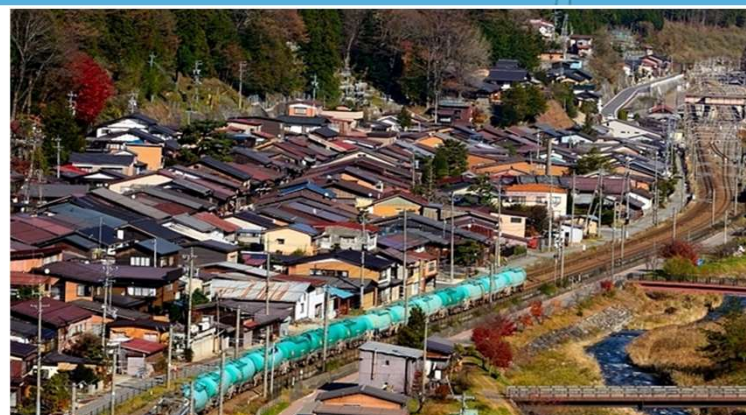


外国人の観光客が利用が半数。電車の本数が少ない。駅は整備されておらず過疎化が進行。

文化プラットフォーム

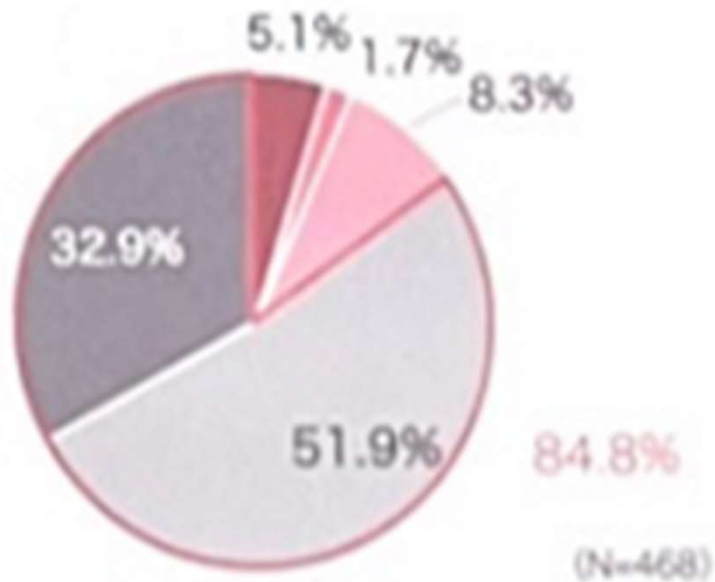
線路ゾーン

商業プラットフォーム



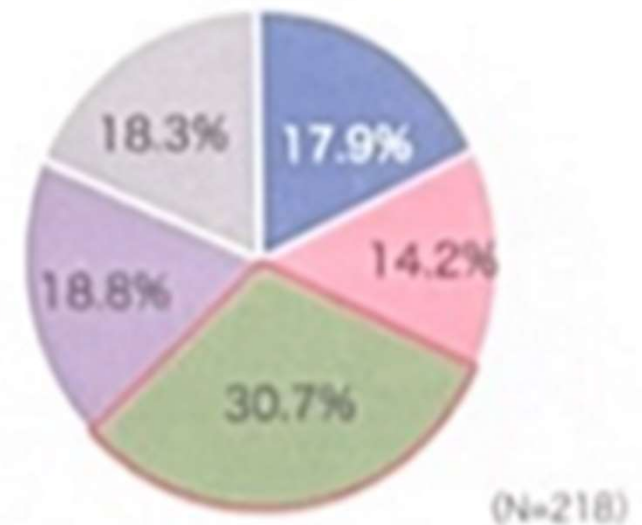
奈良井区全住民アンケート
全体の84%がほとんど利用しないと回答

2)-1 鉄道の利用頻度 (単回答)



- ほぼ毎日
- 週に数回
- 月に数回
- ほとんど利用しない
- 全く利用しない

2)-2 鉄道の利用目的 (単回答)



- 通勤・通学
- 買い物
- 外食・娯楽
- 病院・役所・金融機関
- その他
- その他：旅行、飲み会、
車が使えないとき ほか

文化プラットフォーム

主に住民が積極的に活用することが出来るホーム



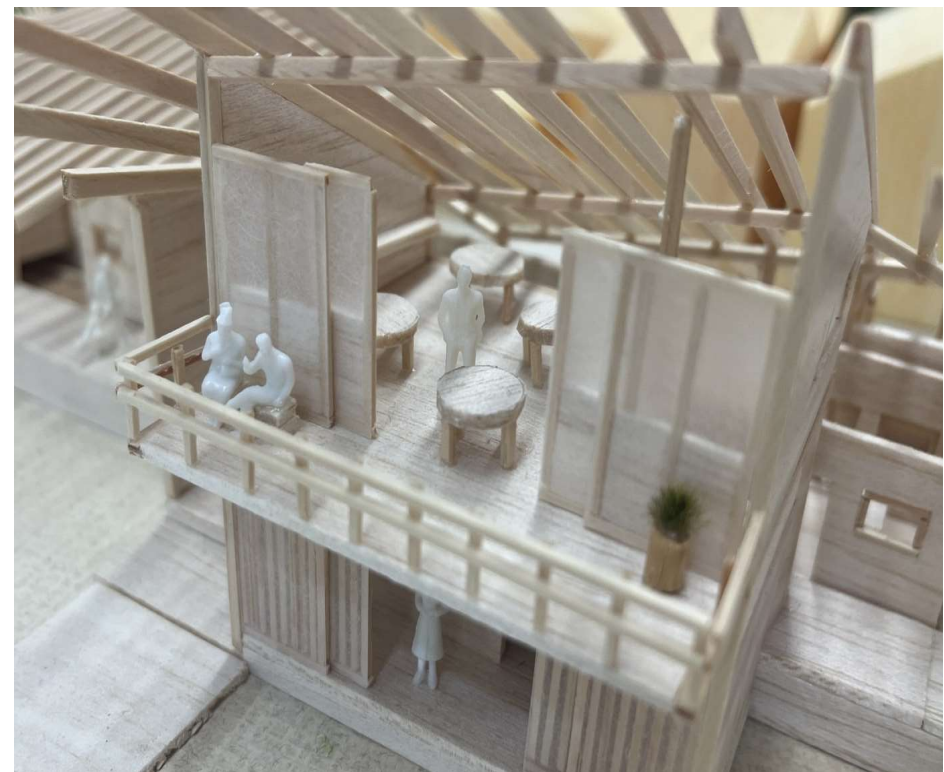


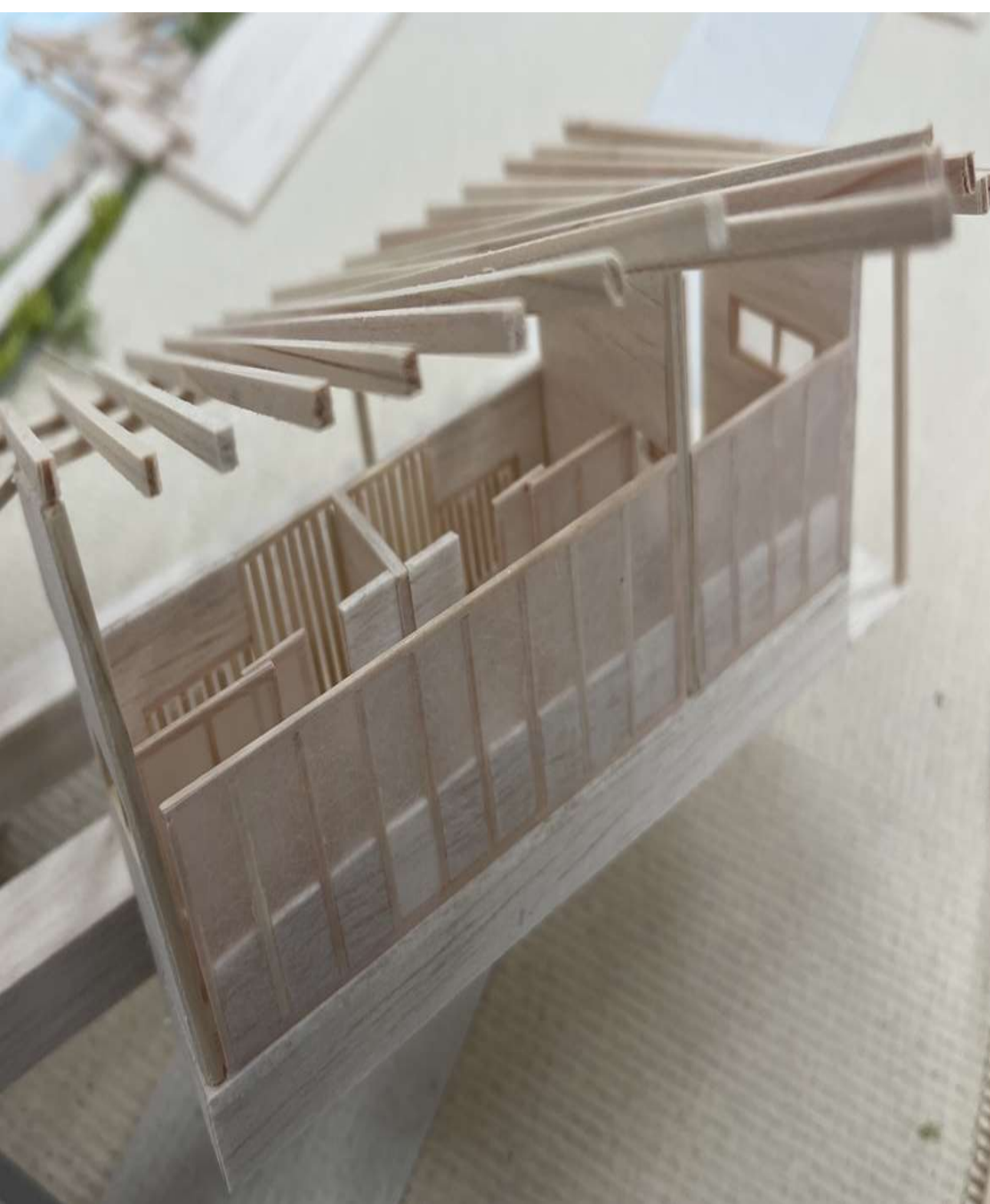
文化プラットフォーム

主に住民が積極的に活用することが出来る

観光案内所

電車で来た観光客が向けの奈良井宿の観光案内所。2階は休息の場として活用できる。





文化プラットフォーム

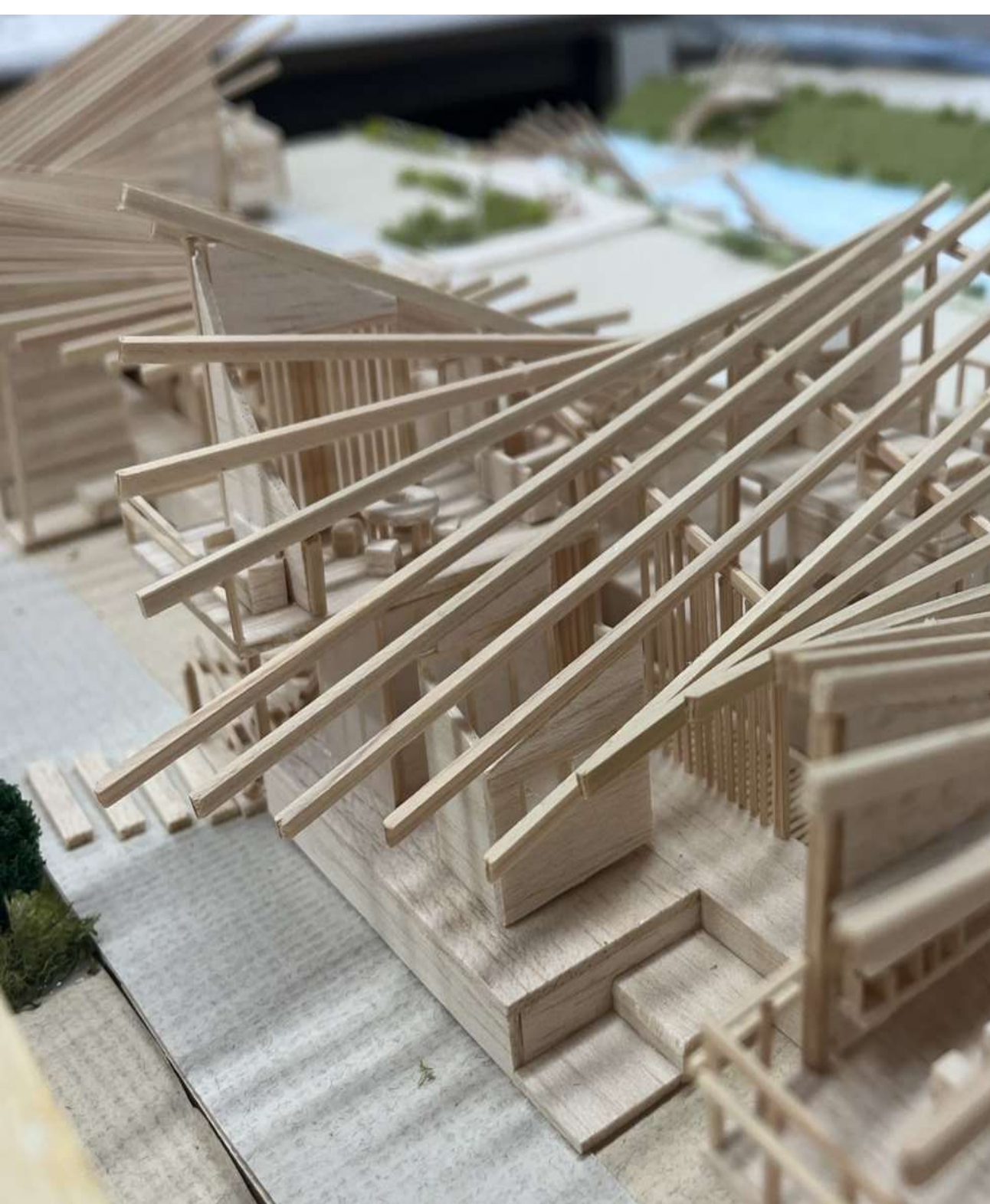
主に住民が積極的に活用することが出来る

病院

現在、奈良井宿から一番近い病院は車で30分ほどだったため、住民の方が気軽に立ち寄れる病院を設計した。

病院電車に乗車して大きな病院へも向かうことができるようになっている。





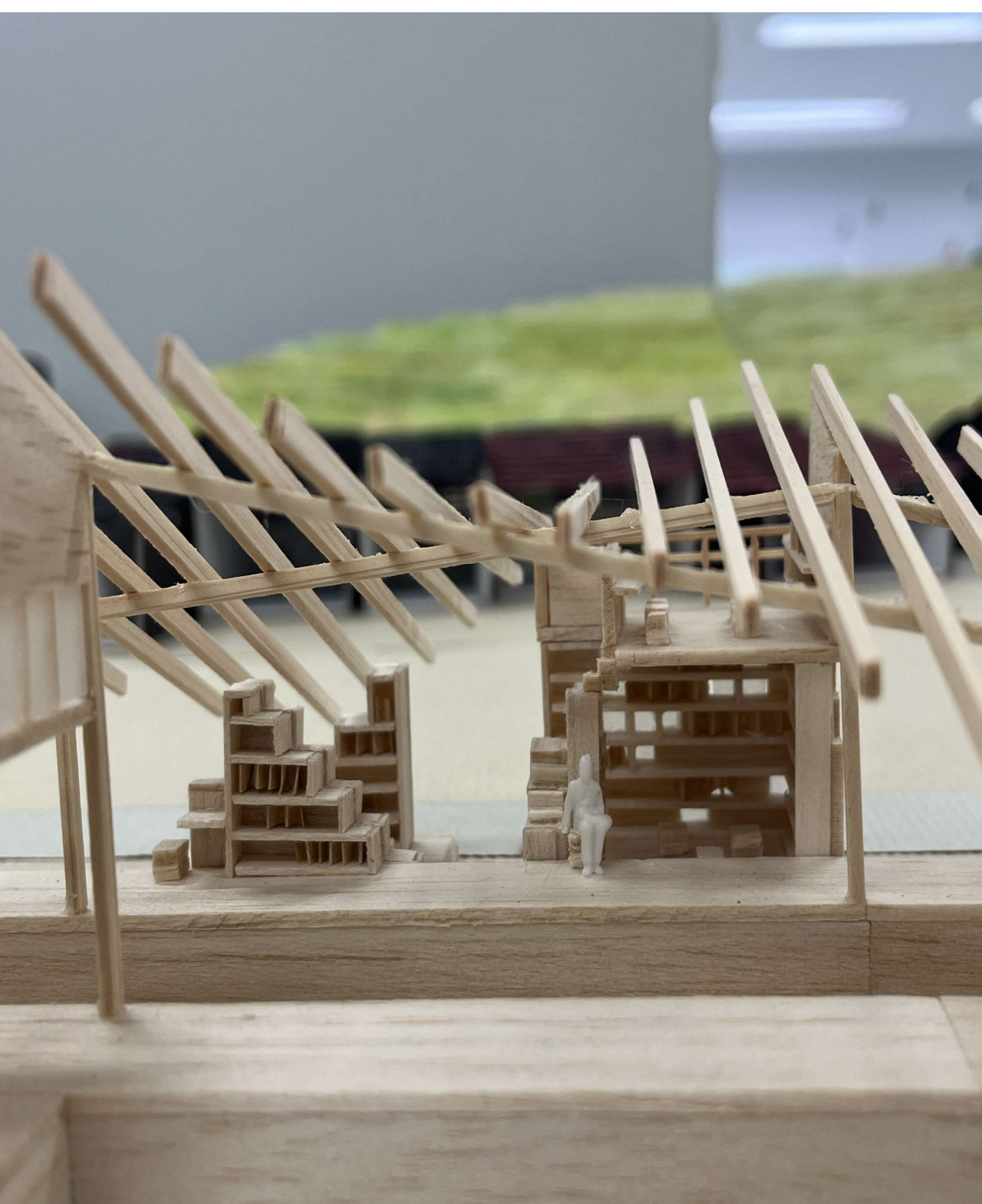
文化プラットフォーム

主に住民が積極的に活用することが出来る

調理室

住民の方が気軽に立ち寄り、料理教室などができるようキッチンを用意した。
商業プラットフォームのレストランと繋がっているため、電車が停車すると、ここで調理し、提供することも可能である。





文化プラットフォーム

主に住民が積極的に活用することが出来る

図書館

自由に使える市民の図書館。
本を運んできた電車が停車すると、電車ごと図書館になり、市民と観光客を巻き込んで、楽しめる空間となる。





文化プラットフォーム

主に住民が積極的に活用することが出来る

多目的ホール

住民の方が自由に使える多目的ホール。



商業プラットフォーム

主に観光客が積極的に活用することが出来るホーム





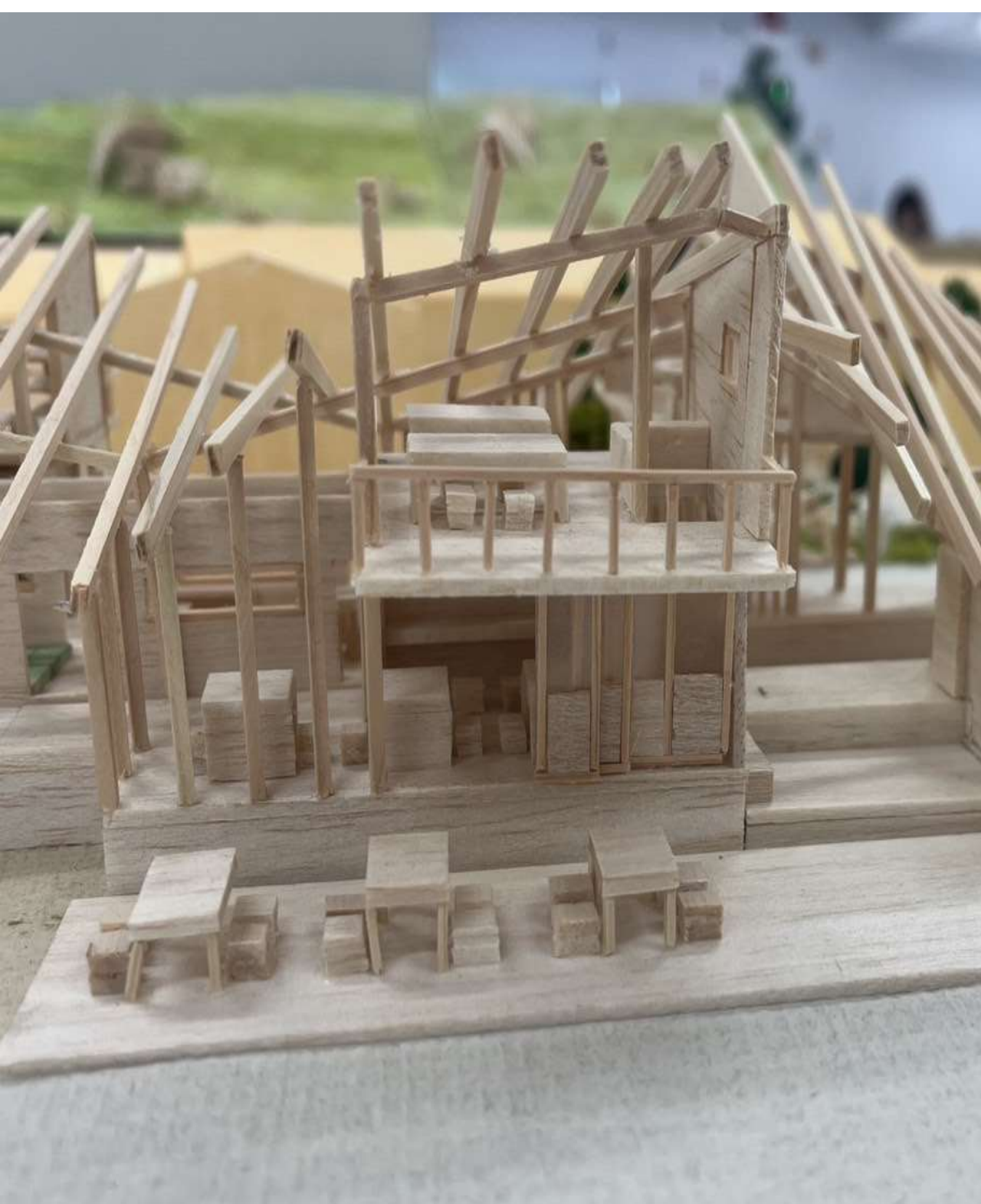
商業プラットホーム

主に観光客が積極的に活用することが出来る

カフェ

電車から降りて、川ゾーンへもアクセスできる。カフェでテイクアウトした商品をもって川沿いでくつろぐこともできる。





商業プラットホーム

主に観光客が積極的に活用することが出来る

レストラン

川ゾーンにもアクセスできるレストラン。電車が停車すると、文化プラットホームの調理室と繋がる為、料理教室や地域食材を使った伝統料理の体験など、他の用途でも活用することができる。





商業プラットホーム

主に観光客が積極的に活用することが出来る

屋台

川ゾーンにもアクセスできる屋台。

気軽に飲食することができる。

川ゾーンで飲食することも可能である。





商業プラットフォーム

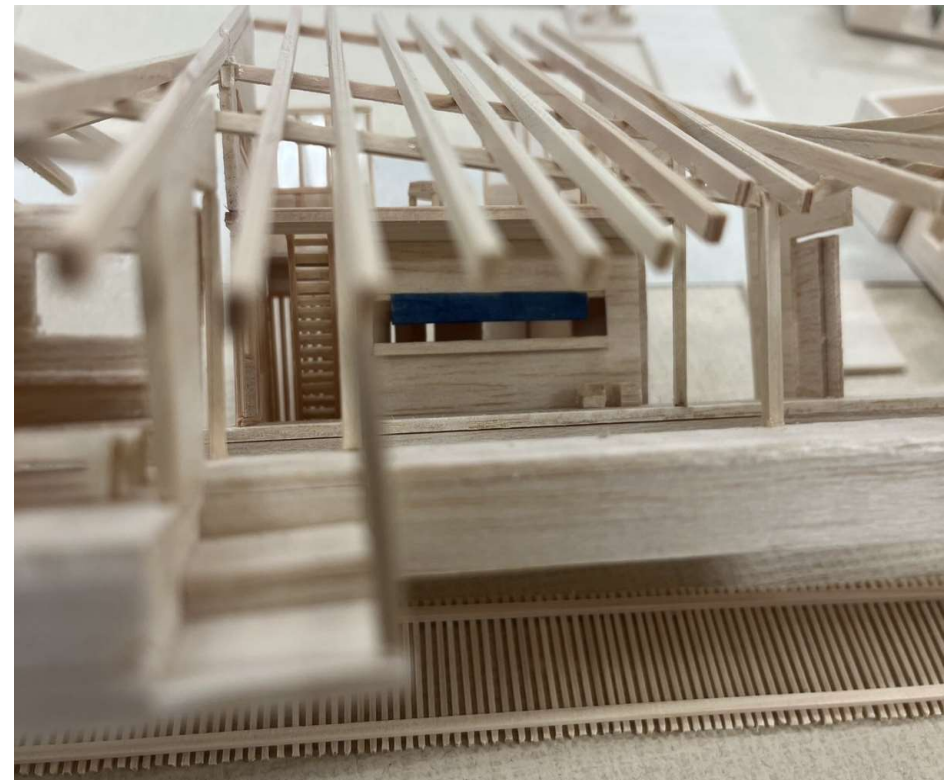
主に観光客が積極的に活用することが出来る

休憩室

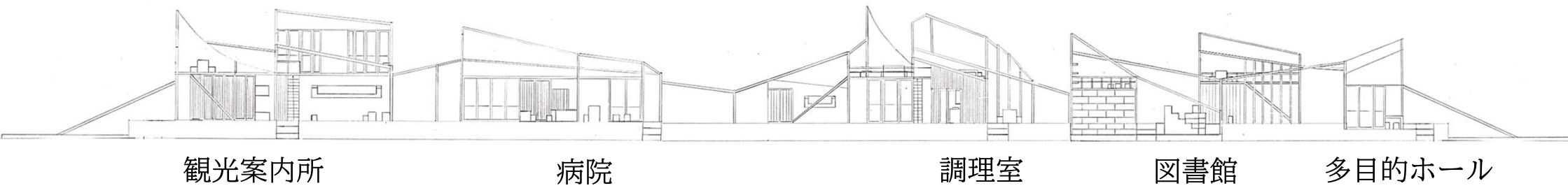
川ゾーンにもアクセスできる。

電車が停車すると、文化プラットフォームの観光案内所と繋がる。

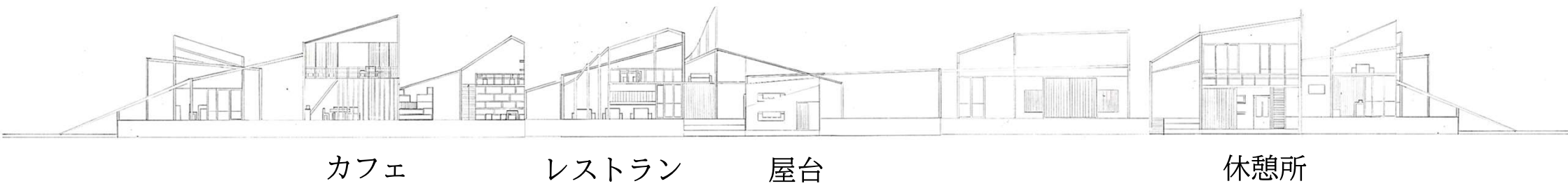
ホーム側は屋台販売を行っているため、電車を降りて気軽に活用することができる。



線路ゾーン 文化プラットフォーム 図面



線路ゾーン 商業プラットフォーム 図面



電車の設計

停車することでプラットフォーム全体の楽しさが格段に増すよう電車自体をも設計した。電車が停車すると、電車とプラットフォームが一体的になり、文化プラットフォームと商業プラットフォーム間を通過できるため、住民と観光客を架け渡す役割を持っている。

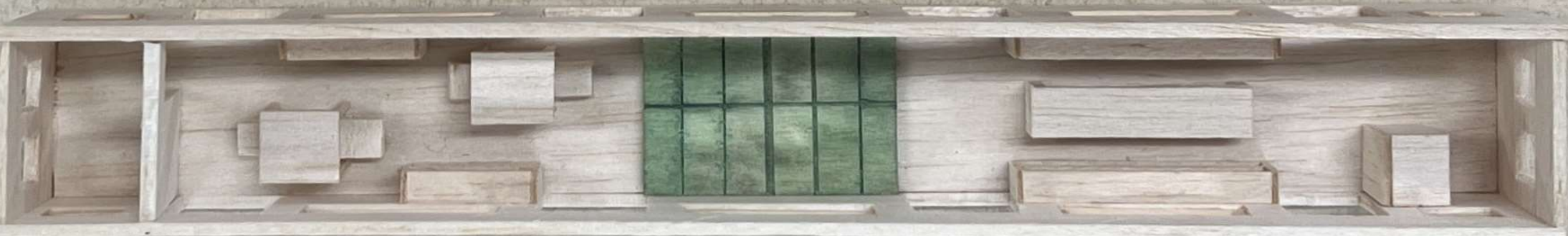
個室電車

個室として活用でき、病院・役所・オフィスの役割を担う。



交流電車

停車駅ごとに物を集めて、小規模の販売を営む。本や食料品・日用品の運搬も可能。



電車の設計

停車することでプラットフォーム全体の楽しさが格段に増すよう電車自体をも設計した。電車が停車すると、電車とプラットフォームが一体的になり、文化プラットフォームと商業プラットフォーム間を通過できるため、住民と観光客を架け渡す役割を持っている。

わいわい電車

大人数のグループや家族向けの活気あふれる観光電車。



ほのぼの電車

少人数専用の観光電車。新たなコミュニティが生まれるように座席を配置した。



電車とプラットフォームの融合

電車が停車すると、電車とプラットフォームが一体的になり、文化プラットフォームと商業プラットフォーム間を通過できる。線路ゾーンは、住民と観光客を架け渡す役割を持つ。



電車が停車する前

電車が
停車



電車が停車した後

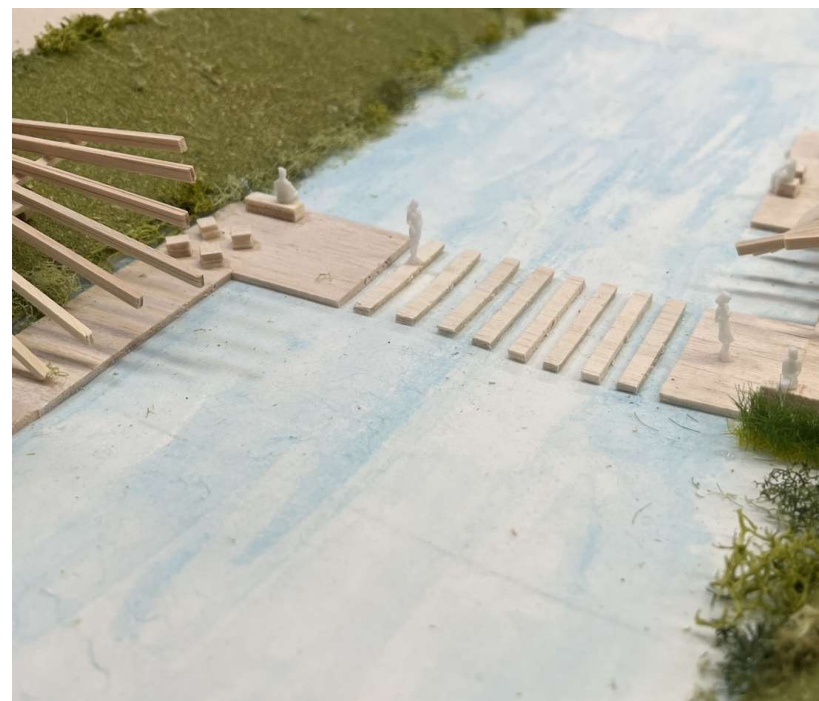


7 川ゾーン

約56.3 kmにわたる一級河川。川幅は約5m～8m。川の水は透き通ってる。



商業プラットフォームと一体的に活用する空間 観光案内所と休憩所と一体的に活用できる。



商業プラットフォームと一体的に活用する空間 調理室と屋台・カフェと一体的に活用できる。



商業プラットフォームと一体的に活用する空間 図書館とカフェと一体的に活用できる。



山裾ゾーンの建物と視覚的に連続する空間

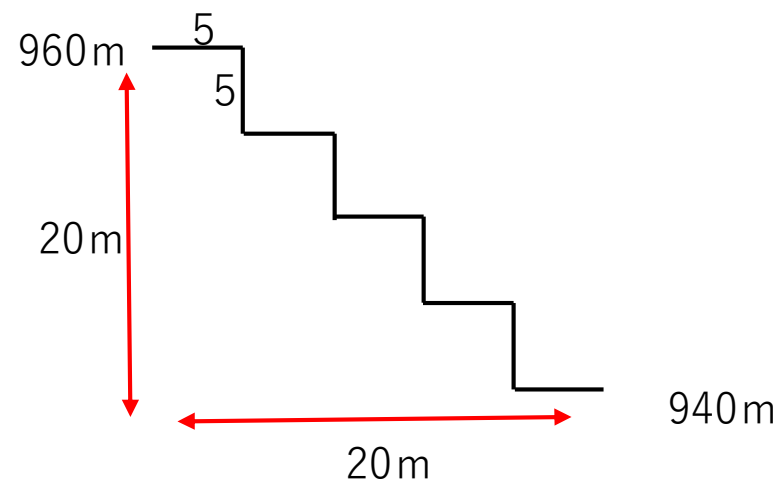
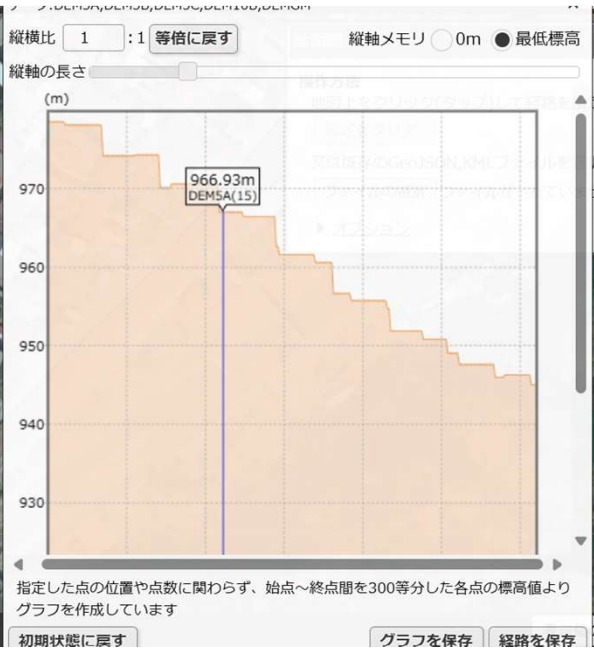
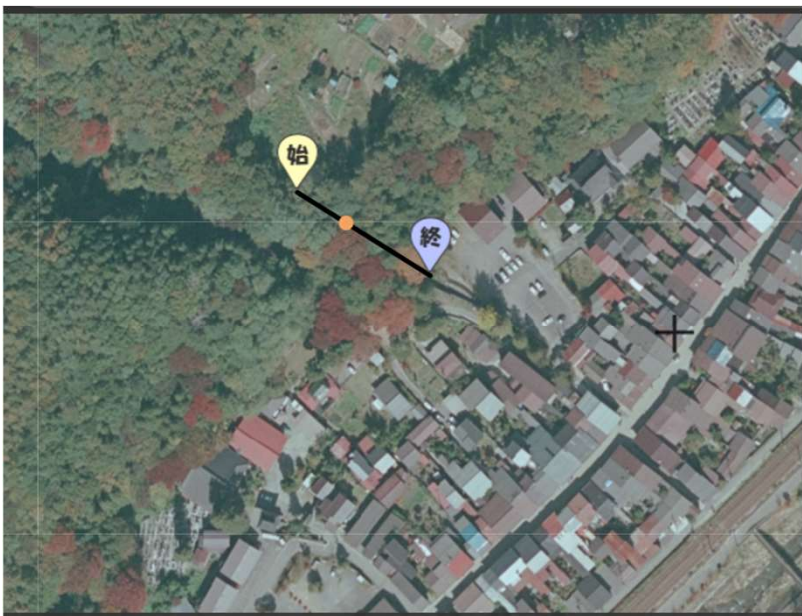
デッキによって向こう岸に渡ることができたり、屋根の上やデッキを使って自由に移動することが可能である。ベンチに座って釣りをしたり、団らんでできるリラックス空間となっている。



8 山裾ゾーン



傾斜が急であり、手入れされていない。



約45度の勾配！



川ゾーンと視線で繋がる位置に設けた空間

休憩所

トレッキングの山の上にある休憩所。木の素材の家具を設置することで、自然に馴染み、統一感のある空間となっている。



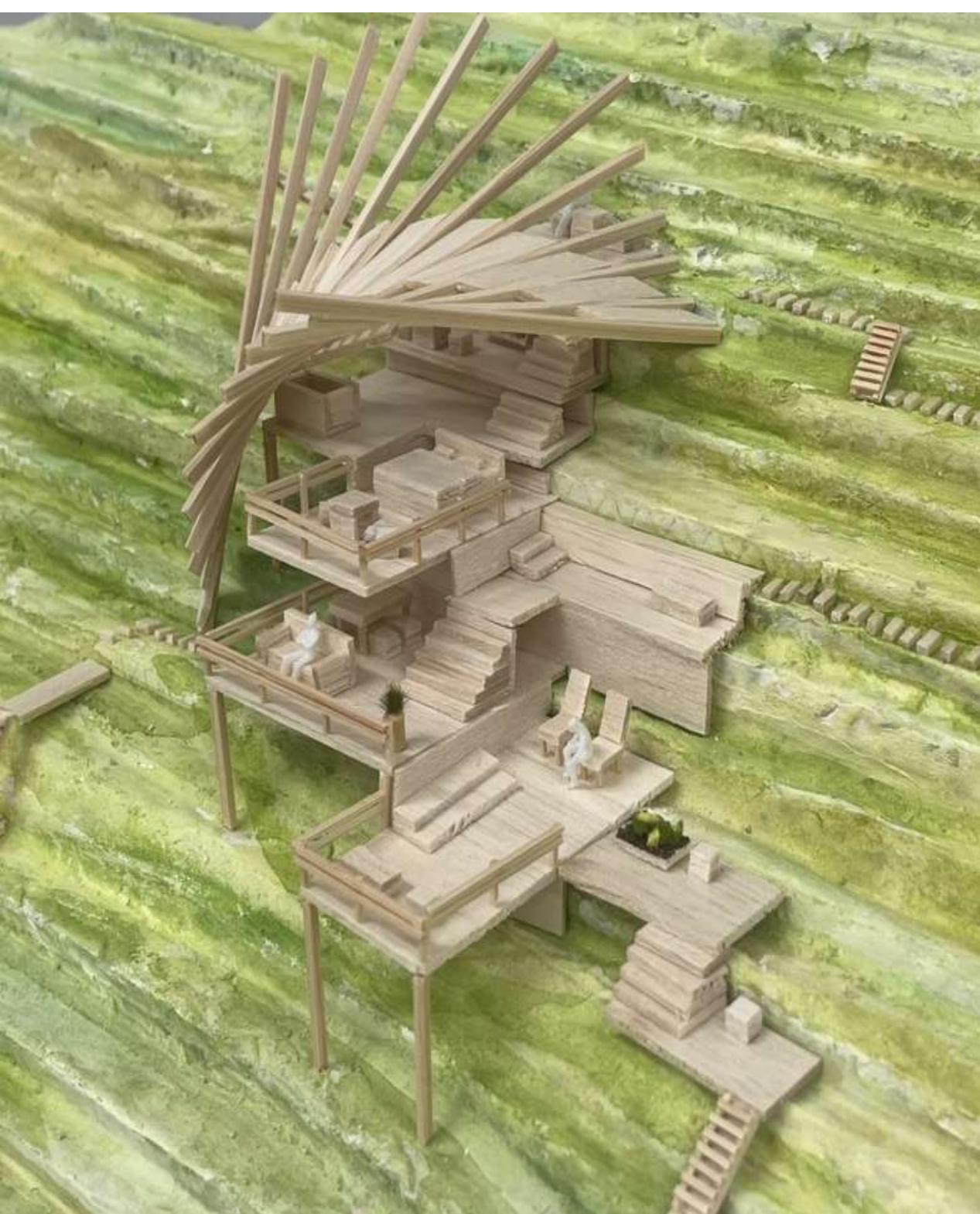


川ゾーンと視線で繋がる位置に設けた空間

宿泊

少人数用の宿泊施設。開放的な空間で、人目を気にせずに大自然を感じることができる。夜は望遠鏡から星を眺めることができる。





川ゾーンと視線で繋がる位置に設けた空間

宿泊

大人数用の宿泊施設。デッキからは奈良井宿の町並みを見渡すことができる。山の稜線を生かしたスキップフロアの空間で、普段とは違った宿泊体験を味わえる。





トレッキングコース内の展望台

展望台デッキ

山に点在している空間を繋ぐ役割を持つ開放的な空間。観光客が奈良井宿の歴史的な町並みを見渡せる場所となっている。





トレッキングコース内の展望台

展望台デッキ

山の稜線を利用して床がスキップになっているため、開放的ながらも段差によって空間を分けている。奈良井宿の要素である回廊と中庭の要素を取り入れている。



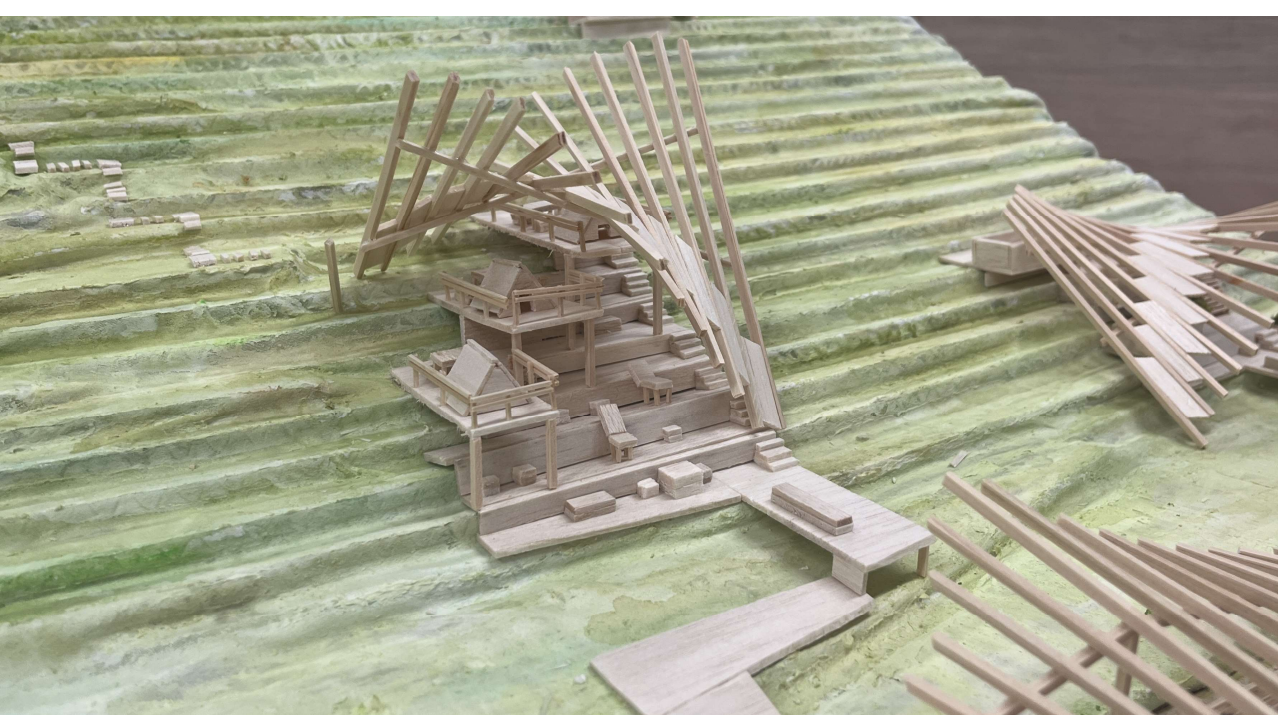


寺社ゾーンと一体的に活用できる空間

露天風呂

改修・増築した寺社の温浴施設と繋がっていて一体的に活用できる露天風呂。





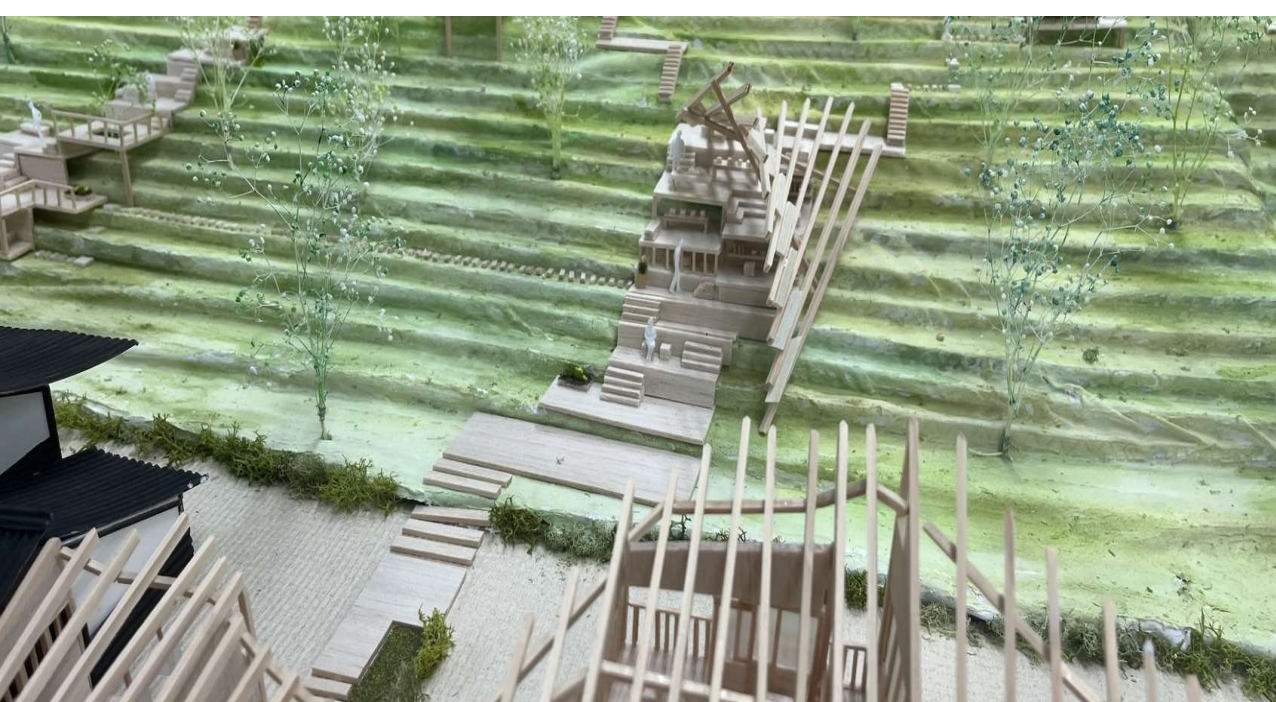
寺社ゾーンと一体的に活用できる空間

キャンプ場

テントが設営されていて、気軽に楽しめキャンプ場。

キャンプ宿泊者が、寺社ゾーンと一体的に活用することができる。



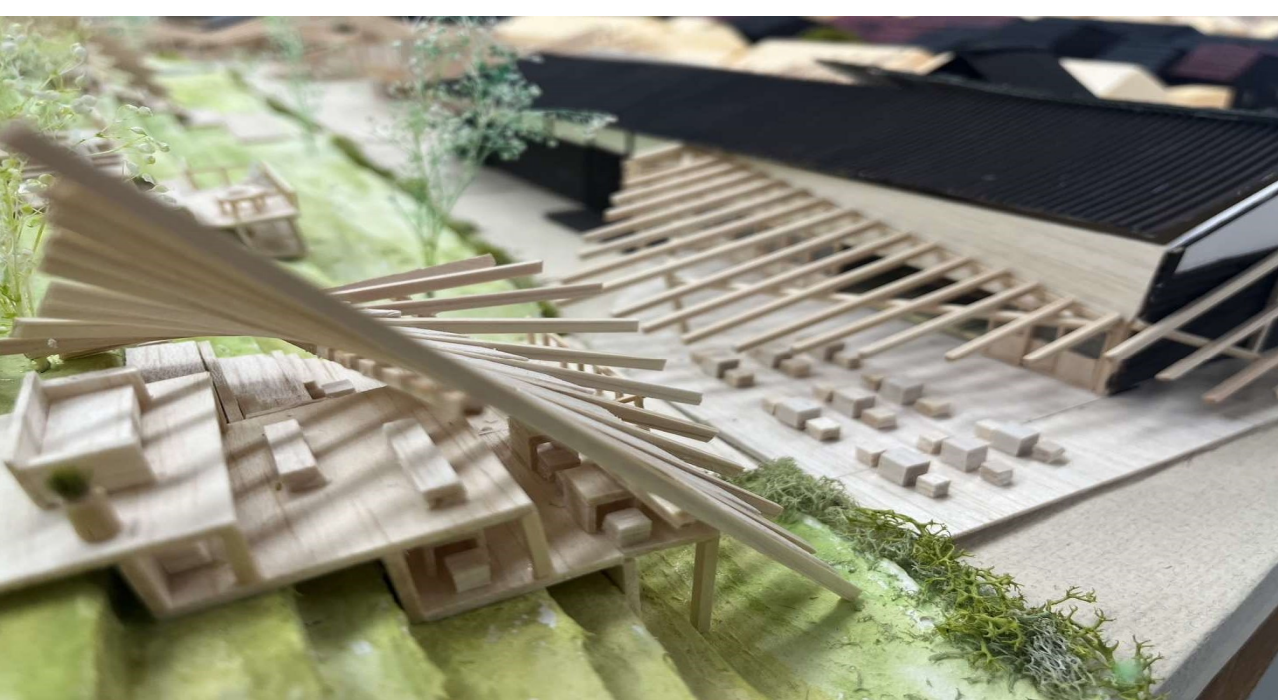


寺社ゾーンと一体的に活用できる空間

多目的広場

宿坊の外部と繋がっており、読書なども楽しめる。

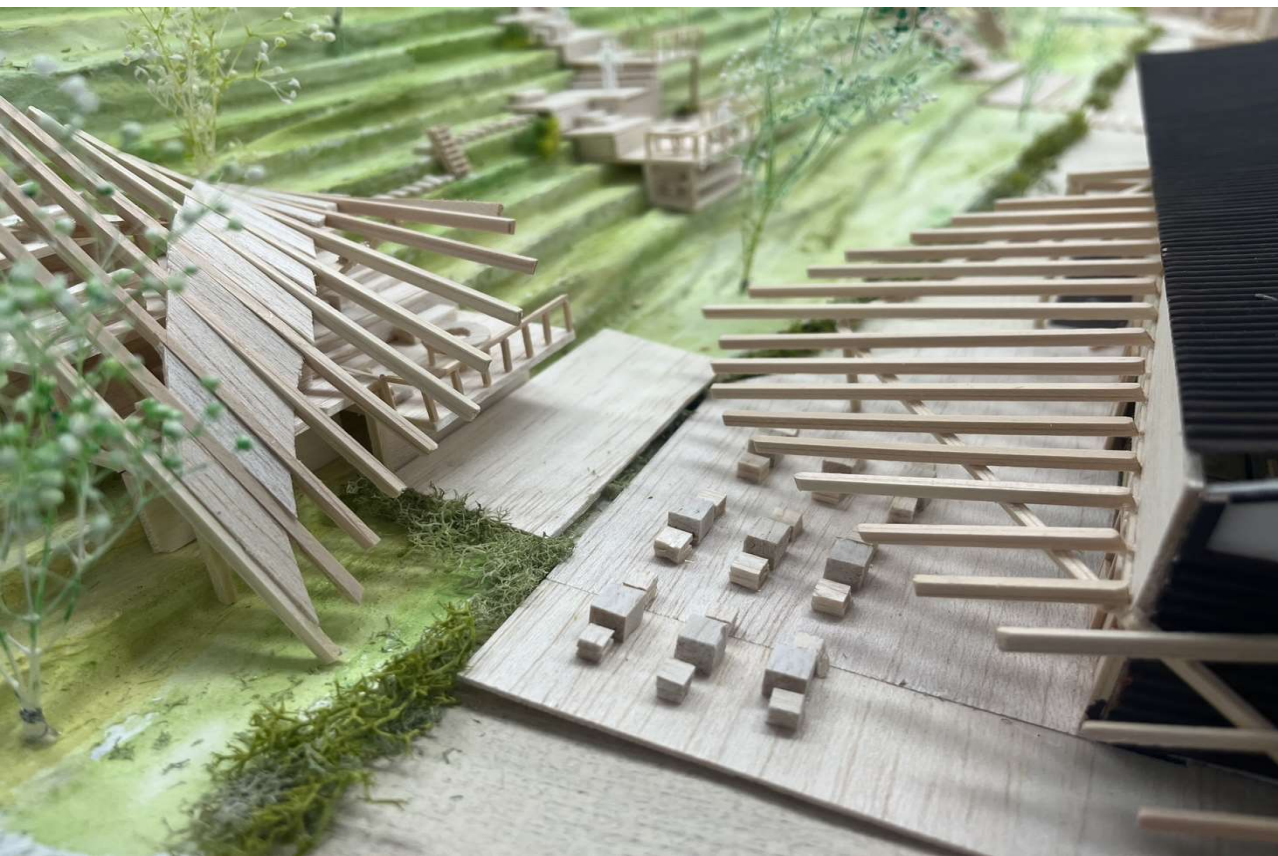




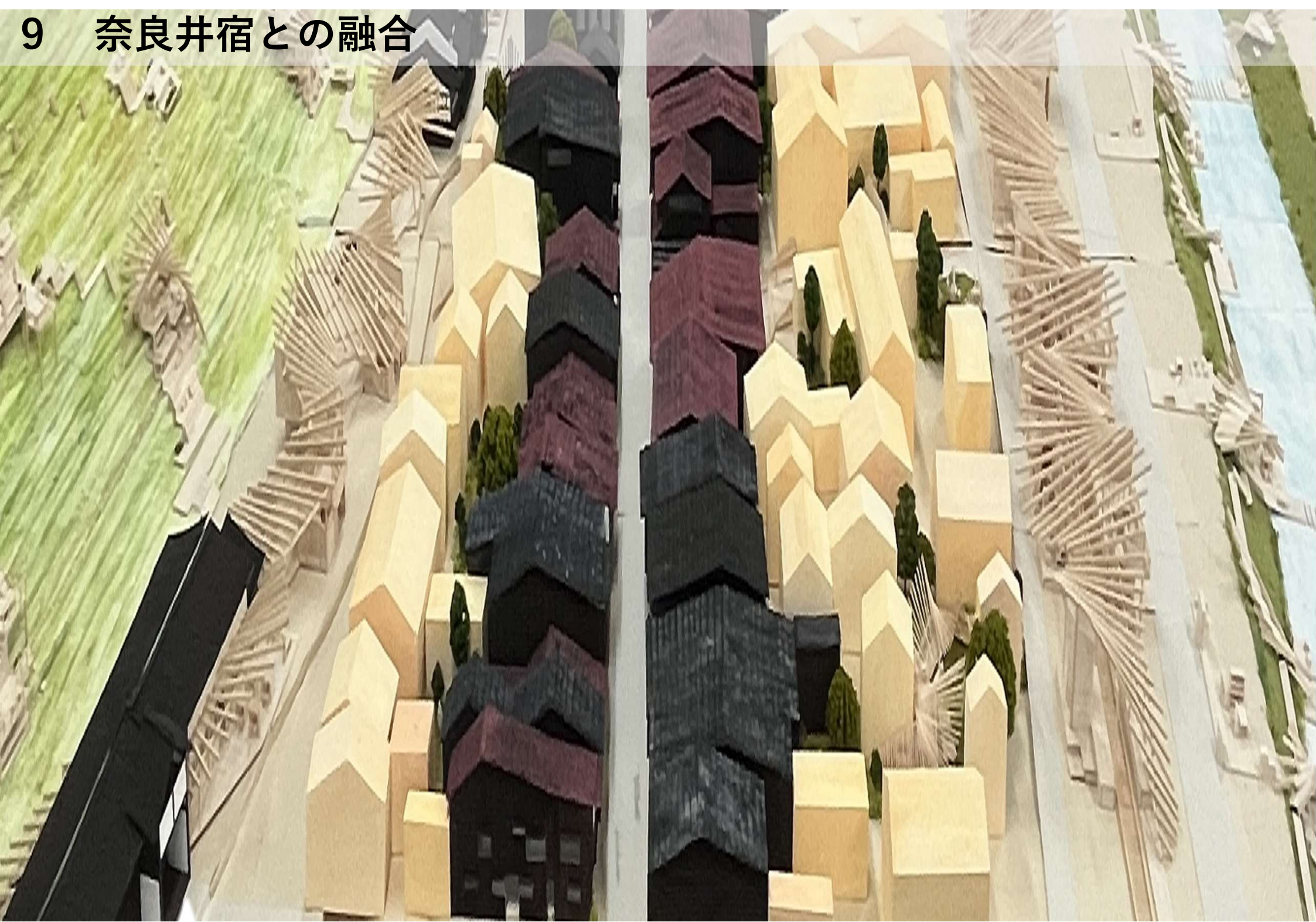
寺社ゾーンと一体的に活用できる空間

休憩所

観光客や地域の人が豊かな自然の中でくつろげる空間。
寺社ゾーンの休憩室と一体的に活用できる。



9 奈良井宿との融合



奈良井宿との融合

4つのゾーンと奈良井宿を結ぶ6か所の空間が存在する



奈良井宿との融合

奈良井宿に埋もれていた、木陰や隙間等のささやかなポテンシャルを引き出しながら、全体を融合して町に奥行きを与えることで、歴史性を守りつつ活性化させる。伝統工芸品の展示や、住民とのコミュニケーション空間を設計し、全体を繋ぐ役割を与える。



1. プラットホームから派生した伝統工芸品の展示や体験空間。観光客と住民とが交流できる場とする。

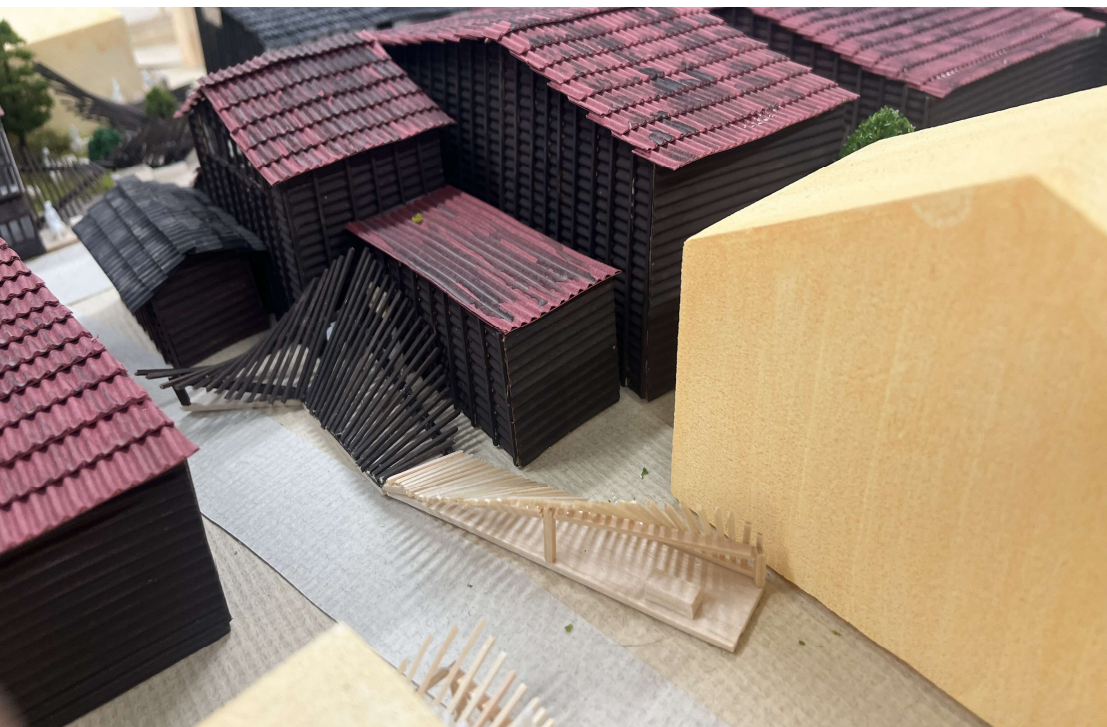


奈良井宿との融合

奈良井宿に埋もれていた、木陰や隙間等のささやかなポテンシャルを引き出しながら、全体を融合して町に奥行きを与えることで、歴史性を守りつつ活性化させる。伝統工芸品の展示や、住民とのコミュニケーション空間を設計し、全体を繋ぐ役割を与える。



2. 道に沿った広場でオープンな空間。プラットフォームから派生し、奈良井宿の建物に消えていく。

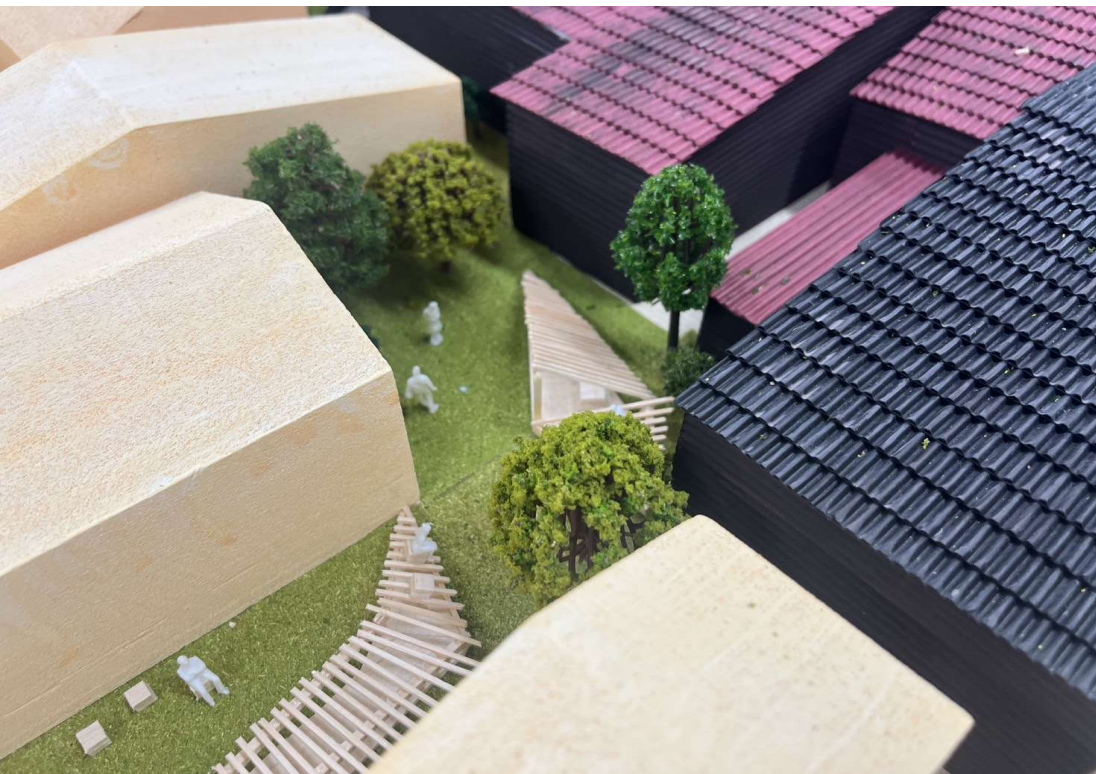


奈良井宿との融合

奈良井宿に埋もれていた、木陰や隙間等のささやかなポテンシャルを引き出しながら、全体を融合して町に奥行きを与えることで、歴史性を守りつつ活性化させる。伝統工芸品の展示や、住民とのコミュニケーション空間を設計し、全体を繋ぐ役割を与える。



3, 線路ゾーンから奈良井宿に行くにつれて、オープンな空間から、住民中心の空間へと移り変わる。



奈良井宿との融合

奈良井宿に埋もれていた、木陰や隙間等のささやかなポテンシャルを引き出しながら、全体を融合して町に奥行きを与えることで、歴史性を守りつつ活性化させる。伝統工芸品の展示や、住民とのコミュニケーション空間を設計し、全体を繋ぐ役割を与える。

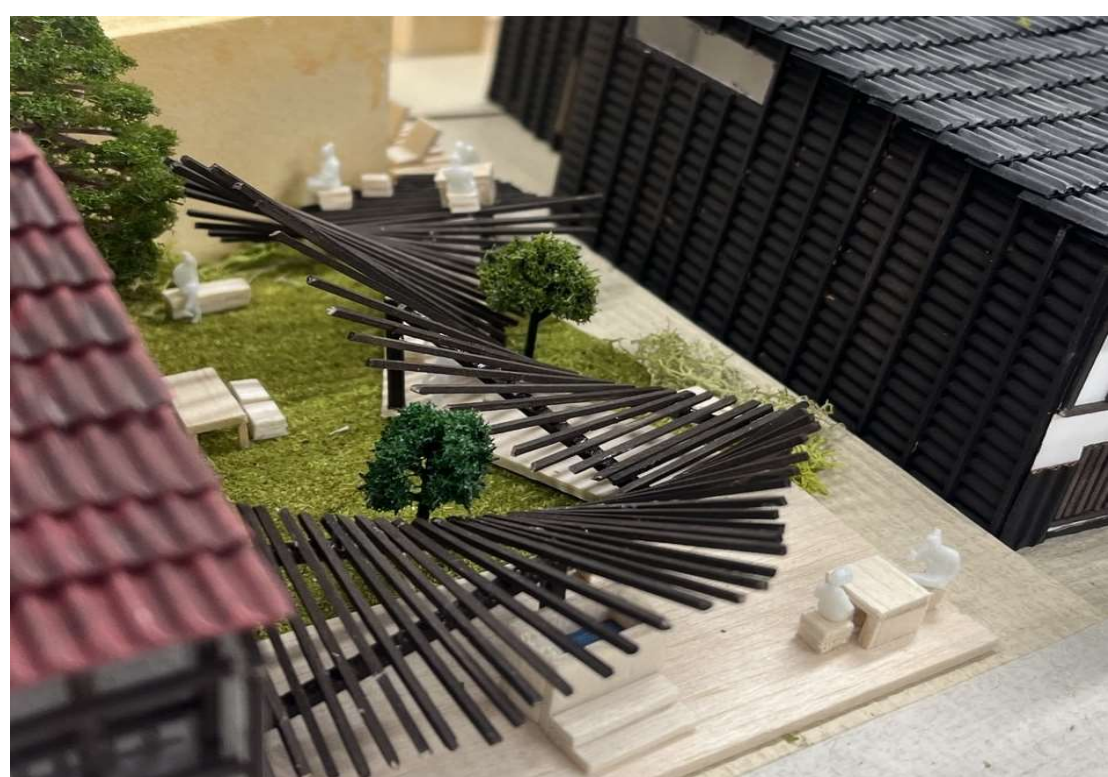


4. 奈良井宿の民家の間の最もささやかで住民に近い空間。地域の情報を記載する掲示板を設置する。



奈良井宿との融合

奈良井宿に埋もれていた、木陰や隙間等のささやかなポテンシャルを引き出しながら、全体を融合して町に奥行きを与えることで、歴史性を守りつつ活性化させる。伝統工芸品の展示や、住民とのコミュニケーション空間を設計し、全体を繋ぐ役割を与える。



5. 街道の中心に位置する水場。机や椅子を設置することで、休憩所として利用する。



奈良井宿との融合

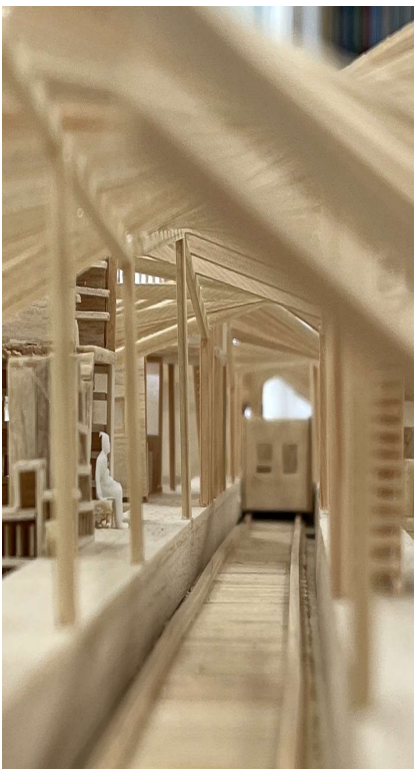
奈良井宿に埋もれていた、木陰や隙間等のささやかなポテンシャルを引き出しながら、全体を融合して町に奥行きを与えることで、歴史性を守りつつ活性化させる。伝統工芸品の展示や、住民とのコミュニケーション空間を設計し、全体を繋ぐ役割を与える。



6. 奈良井宿の歴史的な建物から派生し、寺社へと消えていく空間。住民と交流できる空間。



全体を通して、木造空間にすることにより、歩いたときに人々が自然の中に溶け込んだような感覚を得ることができる。同時に、奈良井宿の要素を取り入れているため、自然の中に佇むような奈良井宿を体感することができる。





10. 参考文献

[中山道・木曾路 奈良井宿観光協会 | 懐かしい宿場町へようこそ](#)

[「重要伝統的建造物群保存地区一覧」と「各地区の保存・活用の取組み」 | 文化庁](#)

[手塚家住宅（てづかけじゅうたく） / 塩尻市公式ホームページ](#)

[伝統的建造物群保存地区での建築行為について / 塩尻市公式ホームページ](#)

[ゼンリン地図・いつもNAVI](#)

[GSI HOME PAGE - 国土地理院](#)